

■日時：11月28日（木）9:10～10:50

■会場：第1会場（白鳥ホール北）

抗HIV療法

座長 内海 眞（国立名古屋病院）
味澤 篤（東京都立駒込病院感染症科）

- 001 関西HIV臨床カンファレンス参加施設における抗HIV薬の組み合わせ調査
桑原 健、日笠 聡、後藤哲志、古西 満、有馬靖佳、松浦基夫、白阪琢磨、上田良弘（関西HIV臨床カンファレンス）

- 002 服薬援助のための基礎的調査－抗HIV薬の組合せ調査（2002年）－
日笠 聡¹、桑原 健¹、小島賢一²、乃村万里³、堀 成美³、山元泰之²
（¹関西HIV臨床カンファレンス、²東京HIV診療ネットワーク、³HIV/AIDS看護研究会）

- 003 服薬援助のための基礎的調査－抗HIV薬の薬剤変更状況調査（2002年）－
小島賢一¹、青木 眞⁴、味澤 篤⁴、天野景裕⁴、磐井静江⁴、岩本愛吉⁴、木村 哲⁴、桑原 健³、桜井賢樹⁴、西田恭治⁴、根岸昌功⁴、花房秀次⁴、日笠 聡²、平林直次⁴、福江英尚⁴、福武勝幸⁴、堀 成美²、乃村万里²、松本宏之⁴、山元泰之⁴
（¹荻窪病院血液科、²HIV/AIDS看護研究会、³関西臨床カンファレンス、⁴東京HIV診療ネットワーク）

- 004 抗HIV薬の服薬に関するアンケート調査結果報告
桑原 健¹、吉野宗宏¹、工藤正樹²、榊原則寛³、内藤義博⁴、清田雅子⁵、下川千賀子⁶、長岡宏一⁷、畛井浩子⁸、西野 隆⁹、白阪琢磨¹⁰
（¹国立大阪病院薬剤部、²東京都立駒込病院薬剤科、³北海道大学医学部附属病院薬剤部、⁴国立仙台病院薬剤科、⁵新潟大学医学部附属病院薬剤部、⁶石川県立中央病院薬剤部、⁷国立名古屋病院薬剤科、⁸広島大学医学部附属病院薬剤部、⁹国立病院九州医療センター薬剤部、¹⁰国立大阪病院免疫感染症科）

- 005 当院におけるLPV/r使用群とEFV使用群の治療成績（初回治療）
伊藤洋貴¹、大木 剛¹、長岡宏一¹、内海 眞²
（¹国立名古屋病院薬剤科、²国立名古屋病院内科）

- 006 血液製剤によるHIV感染者の調査成績第1報 CD4値、HIV-RNA量と治療の現状と推移
白阪琢磨¹、山口拓洋²、岡 慎一³、吉崎和幸⁴、木村哲⁵、福武勝幸⁶、橋本修二⁷
（¹国立大阪病院臨床研究部、²東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻、³国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター臨床研究開発部、⁴大阪大学健康体育部健康医学第一部門、⁵東京大学大学院医学系研究科病因・病理学専攻、⁶東京医科大学臨床検査医学講座、⁷藤田保健衛生大学医学部衛生学）

- 007 当院におけるAZT/3TC合剤（コンビビル）の使用成績調査 第2報
上平朝子¹、吉野宗宏²、藤 純一郎¹、上田千里¹、大谷成人¹、織田幸子³、桑原 健²、白阪琢磨¹
（¹国立大阪病院免疫感染症科、²国立大阪病院薬剤科、³国立大阪病院看護部）

- 008 Efavirenz (EFV)を含んだHAARTの長期成績に関する検討
照屋勝治¹、上田晃弘¹、吉田邦仁子¹、砂川恵伸¹、田沼順子¹、矢崎博久¹、湯永博之¹、源河いくみ¹、立川夏夫¹、菊池 嘉¹、安岡 彰²、岡 慎一¹、木村 哲¹
（¹国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター、²富山医科薬科大学 感染予防医学）

- 009 当院において抗HIV療法の中絶と再開をくり返している4例の臨床経過－STI（計画的治療中断療法）例を含めて－
高嶋能文、奈良妙美、中村昌徳、堀越泰雄、三間屋純一
（静岡県立こども病院血液腫瘍科）

- 010 当院におけるdual PI療法の現状
藤 純一郎¹、桑原 健²、上平朝子¹、吉野宗宏²、白阪琢磨¹
（¹国立大阪病院免疫感染症科、²国立大阪病院薬剤部）

■日時：11月28日（木）10:50～11:30

■会場：第1会場（白鳥ホール北）

抗HIV療法の副作用

座長 山元泰之（東京医科大学臨床検査医学講座）

- 011 当院におけるアバカビルの使用経験
吉野宗宏、桑原 健、織田幸子、大谷成人、藤 純一郎、上田 千里、上平朝子、白阪琢磨
（国立大阪病院薬剤部）

- 012 HIV患者における血中ハプトグロビンの変化
山本政弘、中尾隆介、宮村知也、末松栄一、嶋田裕稔
（国立病院九州医療センター感染症対策室・内科・臨床研究部）

- 013 随時尿CPR/Crを用いたプロテアーゼ阻害剤内服者における耐糖能異常の検討
菅沼明彦、今村顕史、味澤 篤、根岸昌功
（東京都立駒込病院）

- 014 当センターにおけるd4Tを含んだ抗HIV療法患者の高乳酸血症合併について
矢崎博久¹、上田晃弘¹、吉田邦仁子¹、田沼順子¹、砂川恵伸¹、源河いくみ¹、照屋勝治¹、立川夏夫¹、菊池嘉¹、安岡 彰²、岡 慎一¹、木村 哲¹
（¹国立国際医療センターエイズ治療研究開発センター、²富山医科薬科大学感染制御学教室）

■日時：11月28日（木）11:30～12:10

■会場：第1会場（白鳥ホール北）

臨床（副作用その他）

座長 高田 昇（広島大学医学部附属病院輸血部）

- 015 AIDS患者に対してHAART療法中に認められた薬疹の検討

加藤雪彦¹、天野景裕²、香川和彦²、福武勝幸²（¹東京医科大学皮膚科、²東京医大臨床検査科）

- 016 Lack of association between the concordance of HIV-1 infection and HIV-1 RNA viral load in HIV-1 affected couples in Thailand

Archawin Rojanawiwat¹、Koya Ariyoshi²、Panita Pathipvanich³、Kunito Yoshiike⁴、Pathom Sawanpanyalert¹

（¹National Institute of Health, Thailand、²National Institute of Infectious Diseases, Tokyo、³Lampang Hospital, Thailand、⁴JICA-NIH Project）

- 017 HIV-1キャリアーに対する手術の影響

竹谷英之¹、三上貞昭²、河崎則之¹

（¹国立療養所福井病院整形外科、²国立療養所福井病院小児科）

- 018 健常成人におけるサイトメガロウイルス感染症

加藤賢一¹、吉田俊治¹

（¹藤田保健衛生大学、²リウマチ感染症内科）

■日時：11月28日（木）9:10～9:50

■会場：第2会場（レセプションホール）

国際調査

座長 鎌倉光宏（慶應義塾大学看護医療学部）

- 019 バンコク・カオサン通りにおける日本人旅行者のHIV感染危険行動研究

根本 透¹、横田文彦²、花房 香³、和田 清⁴

（¹University of California, San Francisco Center for AIDS Prevention Studies (CAPS)、²University of California, San Francisco Center for AIDS Prevention Studies (CAPS)、³内尾センター、⁴国立精神神経センター）

- 020 南部ベトナムのハイリスク女性のコンドーム使用

小松隆一（国立社会保障・人口問題研究所）

- 021 AIDSの感染格差とその社会文化背景（宗教・性規範・法律等）の研究

沢崎 康、橋本幹雄（財団法人 エイズ予防財団）

- 022 若い女性の「婚前妊娠による結婚」とHIV感染リスクに関する考察 ～フィリピン、マニラでの調査から～

兵藤智佳（早稲田大学アジア・太平洋研究センター）

■日時：11月28日（木）9:50～10:30

■会場：第2会場（レセプションホール）

性行動・文化

座長 桜井賢樹（財団法人エイズ予防財団国際協力部）

- 023 若者のSTD/HIV感染予防のための知識、意識、行動調査について

大久保洋子¹、前川 勲²、大坂英治³

（¹北海道岩見沢保健所、²市立旭川病院、³旭川赤十字病院）

- 024 日本の高校生のHIV/エイズに対する態度と知識

松田重三

（帝京大学医学部内科学講座、Act Against AIDS (AAA) アドバイザー）

- 025 看護学生のHIV/AIDSに対する意識と実際に関する調査

竹熊郁子¹、井上悦子¹、濱野香苗¹、武富弥栄子²、尾崎岩太²、佐野雅之²

（¹佐賀医科大学医学部看護学科、²佐賀医科大学医学部医学科内科学講座）

- 026 人気テレビドラマにおけるジェンダーとセクシュアリティに関する分析

東 優子¹、池上千寿子²、野坂祐子³、徐 淑子⁴

（¹ノートルダム清心女子大学人間生活学部、²ぶれいす東京、³お茶の水女子大学大学院人間文化研究科、⁴新潟県立看護大学）

■日時：11月28日（木）10:30～11:20

■会場：第2会場（レセプションホール）

若者の性行動

座長 木原雅子（広島大学医学部公衆衛生学講座）

- 027 パートナーとの関係性の認知が短大・大学生女子のコンドーム使用行動に与える影響

徐 淑子¹、東 優子²、兵藤智佳³、野坂祐子⁴、白坂ゆき⁴、池上千寿子⁵

（¹新潟県立看護大学、²ノートルダム清心女子大学、³早稲田大学、⁴お茶の水女子大学大学院、⁵ぶれいす東京）

- 028 地方の高校生の日常生活・性意識・性行動に関する横断研究（A県・B県）**
木原正博¹、木原雅子²、荒木善光¹、本間隆之¹、前田規子³、山崎浩司¹、伊藤智子²
（¹京都大学大学院医学研究科国際保健学講座、²広島大学医歯薬総合大学院医学研究科、³長崎大学医学部保健学科）
- 029 フォーカス・グループ・インタビューを用いた地方男子高校生の性意識調査**
山崎浩司¹、木原雅子²、木原正博¹、本間隆之¹、荒木善光¹、伊藤智子²、戒田信賢¹、西村由美子¹
（¹京都大学大学院医学研究科国際保健学講座、²広島大学医歯薬総合大学院医学研究科）
- 030 性経験を有する若者のHIV感染リスク行動と要因に関する研究**
第1報 アメリカ村の若者における感染リスク行動について
大森佐知子¹、岳中美江²、日高庸晴³、白阪琢磨⁴
（¹関西大学保健管理センター、²国立大阪病院/エイズ予防財団、³京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻、⁴国立大阪病院）
- 031 性経験を有する若者のHIV感染リスク行動と要因に関する研究**
第2報 アメリカ村の若者における感染リスク行動と関連要因との関係性について
岳中美江¹、日高庸晴²、大森佐知子³、白阪琢磨⁴
（¹国立大阪病院/エイズ予防財団、²京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻、³関西大学保健管理センター、⁴国立大阪病院）

■日時：11月28日（木）11:20～12:20

■会場：第2会場（レセプションホール）

予防介入

座長 市川誠一（神奈川県立衛生短期大学衛生技術科）

- 032 大阪地域のMSMにおけるHIV・STD感染の予防啓発介入研究**
3. 第3次質問票調査（2001年調査）による予防介入の評価
市川誠一¹、木村博和²、鬼塚哲郎³、松原 新⁴、日高庸晴⁵、鬼塚直樹⁶、木原正博⁵
（¹神奈川県立衛生短期大学衛生技術科公衆衛生学研究室、²横浜市立大学医学部公衆衛生学講座、³京都産業大学、⁴MASH大阪、⁵京都大学医学研究科社会健康医学系専攻国際保健学講座、⁶Ctr. for AIDS Prevention Studies, Univ. of California.）

- 033 高校生に対する学校ベースの予防介入研究（B県）**
木原雅子¹、木原正博²、山崎浩司²、小松隆一³、伊藤智子¹、本間隆之²、荒木善光²、今井敏幸⁴
（¹広島大学医歯薬総合大学院医学研究科、²京都大学大学院医学研究科、³国立社会保障・人口問題研究所、⁴MASH 大阪）
- 034 学校現場におけるHIV感染者／エイズ患者の人権教育に関する研究**
大石敏寛、風間 孝
（せかんどかみんぐあうと、動くゲイとレズビアンの会）
- 035 店舗型ファッションヘルスで働く女性に向けたHIV/STD予防介入プログラムの開発**
水島 希¹、要 友紀子²、木原雅子³、木原正博⁴
（¹SWASH（Sex Work and Sexual Health）、京都大学理学部動物学教室、²SWASH（Sex Work and Sexual Health）、³広島大学大学院医歯薬学総合研究科病態情報医科学、⁴京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻国際保健学講座）
- 036 東京地域のMSMに向けたHIV/STD感染予防活動**
佐藤末光¹、井戸田一朗²、岡崎一裕³、鬼塚直樹⁴、木村博和⁵、市川誠一⁶
（¹東京大学医科学研究所／MASH東京、²東京女子医科大学／MASH東京、³HIVと人権情報センター／MASH東京、⁴CAPS International Program, UCSF、⁵横浜市立大学医学部公衆衛生学、⁶神奈川県立衛生短期大学）
- 037 陰性告知場面における予防的介入の可能性について**
石川雅子、花澤佳子、大野朝子、御園生直美、蘇原雅明、池上 宏、小倉敬一
（千葉市保健所感染症対策課）

■日時：11月28日（木）9:10～10:10

■会場：第3会場（会議室141-142）

薬剤耐性 1

座長 児玉栄一（京都大学ウイルス研究所附属エイズ研究施設）
吉村和久（熊本エイズ学研究センター）

- 038 タッチダウンPCR法によるプロテアーゼ遺伝子の増幅不可能な原因とその改善策**
浅黄 司¹、伊部史朗²、金田次弘²、鈴木博義¹、手塚文明³
（¹国立仙台病院臨床検査科、²国立名古屋病院臨床研究部、³国立仙台病院臨床研究部）

- 039 Gag p6遺伝子に検出された挿入変異の意義
伊部史朗¹、森下高行²、佐藤克彦²、内海 眞¹、金田次弘¹
(¹国立名古屋病院臨床研究部、²愛知県衛生研究所微生物部)
- 040 相同組み換えによる患者由来CRF01_AEの再構築とその解析
松田昌和¹、千葉智子¹、岡野愛子¹、守谷研二¹、富田康浩²、佐藤裕徳²、杉浦 亙¹
(¹国立感染症研究所エイズ研究センター、²国立感染症研究所遺伝子解析室)
- 041 ヒトT細胞株を用いた新たなHIV-1薬剤感受性検査法の確立の試み
千葉智子¹、滝澤万里¹、松田昌和¹、松田善衛¹、横幕能行²、岡野愛子¹、守谷研二¹、山田兼雄²、本多三男¹、杉浦 亙¹
(¹国立感染症研究所エイズ研究センター、²聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター)
- 042 Breast cancer resistance proteinx (BCRP) によるHIV-1核酸系逆転写阻害剤に対する薬剤耐性の誘導
王 欣、馬場昌範、岡本実佳
(鹿児島大学医学部附属難治性ウイルス疾患研究センターヒトレトロウイルス研究分野)
- 043 HIV-1 gp41 C末端由来ペプチドC34による耐性化機序の解明
行木大輔、児玉栄一、松岡雅雄
(京都大学ウイルス研究所附属エイズ研究施設感染免疫研究領域)
- 046 NFV存在下において感染効率の上昇が認められた薬剤耐性株の解析
松岡佐織¹、蜂谷敦子¹、土屋亮人¹、佐藤裕徳²、武部豊³、岡 慎一¹
(¹国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター、²国立感染症研究所 遺伝子解析室、³国立感染症研究所 エイズ研究センター)
- 047 新規感染患者から検出された新たなネビラピン(NVP) 耐性変異について
蜂谷敦子¹、児玉栄一²、松岡佐織¹、土屋亮人¹、立川夏夫¹、安岡 彰³、満屋裕明⁴、松岡雅雄²、木村 哲¹、岡 慎一¹
(¹国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター、²京都大学 ウイルス研究所 感染免疫領域、³富山医科薬科大学 感染予防医学、⁴熊本大学医学部 免疫病態学 感染免疫診療部 内科学第2)
- 048 ジェノタイプ法とフェノタイプ法による抗レトロウイルス薬に対するHIV-1の薬剤感受性検査結果の比較
田中理恵¹、松田昌和²、杉浦 亙²、花房秀次³、根岸昌功⁴、加藤真吾¹
(¹慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室、²国立感染症研究所エイズ研究センター、³荻窪病院小児科血液科、⁴都立駒込病院感染科)
- 049 多剤併用療法導入後の本邦における抗HIV-1 薬剤耐性変異の動向
岡野愛子¹、松田昌和¹、千葉智子¹、守谷研二¹、山田兼雄²、杉浦 亙¹
(¹国立感染症研究所 エイズ研究センター、²聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター)
- 050 HIV薬剤耐性遺伝子変異の不一致例について(その2) : HIV-RNA (血漿中) とHIVプロウイルスDNA (PBMC中) との長期不一致例について
宇宿秀三¹、野口有三¹、坂本光男²、相楽裕子²、須藤弘二³、西澤雅子⁴、近藤真規子³、今井光信³
(¹横浜市衛生研究所、²横浜市立市民病院、³神奈川県衛生研究所、⁴神奈川県衛生研究所 ((財) エイズ予防財団リサーチレジデント)
- 044 未治療症例における薬剤耐性及び治療開始後の変化
内田泰斗、西田恭治、永泉圭子、山元泰之、福武勝幸
(東京医科大学病院臨床検査医学科、厚生労働省エイズ治療薬研究班)
- 051 同一患者検体を用いた薬剤耐性検査結果の比較
須藤弘二¹、西澤雅子²、嶋 貴子¹、近藤真規子¹、向出雅一³、蜂谷敦子⁴、岡 慎一⁴、加藤真吾⁵、伊藤 章⁶、宇宿秀三⁷、野口有三⁷、相楽裕子⁸、杉浦 亙⁹、今井光信¹
(¹神奈川県衛生研究所、²神奈川県衛生研究所、エイズ予防財団リサーチレジデント、³SRL, Inc.、⁴国立国際医療センター、⁵慶応大学医学部、⁶横浜市立大学医学部、⁷横浜市衛生研究所、⁸横浜市立市民病院、⁹国立感染症研究所)
- 045 2001年次に新規受診した未治療HIV-1感染症患者の薬剤耐性検査結果
伊部史朗¹、森下高行²、竹尾 歌¹、堀田直恵¹、佐藤克彦²、内海 眞¹、金田次弘¹
(¹国立名古屋病院臨床研究部、²愛知県衛生研究所微生物部)

■日時：11月28日(木) 10:10~11:30

■会場：第3会場(会議室 141-142)

薬剤耐性 2

座長 松田善衛(国立感染症研究所村山分室)
金田次弘(国立名古屋病院)

■日時：11月28日（木）11:30～12:40

■会場：第3会場（会議室141-142）

治療薬開発

座長 伊藤正彦（山梨医科大学微生物学教室）
中島秀喜（聖マリアンナ医科大学微生物学）

- 052 新規低分子化合物T-1113の抗HIV-1活性と作用機序の検討
村上 努¹、田中礼子¹、広瀬国孝²、谷中幹郎²、山本直樹³、田中勇悦¹
（¹琉球大学医学部附属沖縄・アジア医学研究センター感染免疫学研究分野、²呉羽化学生物医学研究所、³東京医科歯科大学大学院）
- 053 新規低分子化合物：ペンダント型亜鉛サイクレン錯体の抗HIV活性とその作用機序
山本直彦¹、森下高行²、佐藤克彦²、大竹 徹³、森 治代³、川畑拓也³、金田次弘⁴、内海 眞⁴
（¹名古屋大学大学院医学系研究科 国際保健医療学、²愛知県衛生研究所 微生物部、³大阪府立公衆衛生研究所 病理課、⁴国立名古屋病院 臨床研究部）
- 054 P2/P3部位にD-アスパラギン酸を有する新規HIV-1プロテアーゼ阻害剤のデザインと合成
木曾良明¹、阿見英一¹、林 良雄¹、植田和弥¹、木村徹¹、佐藤彰彦²、中原宏一郎²
（¹京都薬科大学薬品化学教室、²塩野義製薬 創薬研究所）
- 055 メタロエンドペプチダーゼFのHIVに及ぼす影響
長縄 聰¹、泉 泰之²、高橋清実³、佐藤成大³、藤崎茂田⁴、藤崎恭大⁴、三谷満昭⁴、網 康至²、中村正彦⁵、本多三男²、仲宗根正²、朽久保 修¹、北村勝彦¹
（¹横浜市立大学医学部公衆衛生学教室、²国立感染症研究所、³岩手医科大学細菌学教室、⁴酵素医学研究所、⁵大阪大学蛋白質研究所）
- 056 HIV-1逆転写酵素を阻害する相補性ペプチドに関する研究
岡田秀親、岡田則子
（名古屋市立大学大学院医学研究科生体防御学）
- 057 Double-strand RNAによるHIV-1増殖の抑制
Park Wee-Sung¹、黒崎直子¹、早船 正哲¹、松崎哲夫²、嶋田文之²、高久 洋¹
（¹千葉工業大学工学部工業化学科、²千葉県船橋赤十字血液センター）
- 058 5'LTRを用いたCre/loxP systemによるHIV-1感染特異的遺伝子発現ベクターの評価
名川隆志¹、羽生勇一郎¹、松本則彦¹、武内寛明²、黒崎直子³、高久 洋³
（¹千葉工業大学工学部工業化学科、²東北大学医学系研究科微生物学分野、³千葉工業大学ハイテクリサーチセンター）

■日時：11月28日（木）9:10～10:40

■会場：第4会場（会議室131-134）

臨床病態解析・検査

座長 今井光信（神奈川県衛生研究所ウイルス部）
加藤真吾（慶應義塾大学医学部微生物学免疫学教室）

- 059 長期にわたりHIV-1抗体価が低レベルで推移した感染者におけるHIV-1 *nef*/LTR遺伝子の経時的解析
近藤真規子¹、西澤雅子²、須藤弘二¹、嶋 貴子¹、斎藤隆行¹、岩室紳也³、岡部武史³、今井光信¹
（¹神奈川県衛生研究所ウイルス部、²エイズ予防財団、神奈川県衛生研究所ウイルス部、³神奈川県立厚木病院）
- 060 *nef*/LTR領域欠損HIV-1の分離及び分離株の増殖についての解析
西澤雅子¹、近藤真規子²、須藤弘二²、嶋 貴子²、斎藤隆行²、加藤真吾³、田中理恵³、岩室紳也⁴、岡部武史⁴、今井光信²
（¹神奈川県衛生研究所ウイルス部、（財）エイズ予防財団リサーチレジデント、²神奈川県衛生研究所ウイルス部、³慶応大学医学部、⁴神奈川県立厚木病院）
- 061 高感度リアルタイムPCRによるHIV-1 DNA定量法の検討
永井裕美¹、和田かおる¹、森下高之²、内海 眞¹、西山幸廣³、金田次弘¹
（¹国立名古屋病院臨床研究部、²愛知県衛生研究所、³名古屋大学医学部病態制御研究施設ウイルス感染研究部門）
- 062 PNA-ISH法で同定されたHIV-1プロウイルス陽性細胞の表現型の決定
服部純子、萩原智子、内海 眞、金田次弘
（国立名古屋病院・臨床研究部）
- 063 HIV感染症治療の最適化に関する研究－pDNAとT cell Turnoverの測定－
吉村和久、木村哲也、小糸 厚、松下修三
（熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野）
- 064 民間クリニックとの連携によるHIV抗体迅速検査の試みーホームページ「HIV検査・相談マップ」の活用と利用状況も含めー
嶋 貴子¹、西大條文一²、赤枝恒雄³、尾上泰彦⁴、大國 剛⁵、尾関全彦⁶、澤畑一樹⁷、清水茂徳⁸、角田英久⁸、堀 成美⁹、大竹 徹¹⁰、近藤真規子¹、今井光信¹
（¹神奈川県衛生研究所ウイルス部、²北新宿同仁斎メデイカルクリニック、³赤枝六本木診療所、⁴宮本町中央診療所、⁵大國診療所、⁶尾関皮膚泌尿器科、⁷三菱化学BCL、⁸ライフ・エイズ・プロジェクト、⁹東京都立駒込病院、¹⁰大阪府立公衆衛生研究所）

065 簡便な超高感度逆転写酵素活性測定法を用いた HIV-1 の検出

小田原史知¹、河野武弘²、今村茂行¹、佐野浩一²
(¹旭化成株式会社診断薬研究部、²大阪医科大学微生物学教室)

066 生分解性ポリマーを用いたバイオヒト皮膚モデルにおける HIV-1 検出法の検討

鈴木寿子¹、土屋 利江²、吉原なみ子¹
(¹国立感染症研究所エイズ研究センター、²国立医薬品食品衛生研究所療品部)

067 第三回アンプリコア HIV-1 モニター v1.5 コントロールサーベイ

吉原なみ子¹、福岡浩一²、今井光信³、伊沢明子⁴、吉田 繁⁵、有山 巖⁶、杉本和敏⁷、野尻 治⁸、池谷宏造⁹、葦原義久¹⁰、和山行正¹¹、林 邦彦¹²
(¹国立感染症研究所、²国立感染症研究所、³神奈川県衛生研究所ウイルス部、⁴札幌医科大学医学部付属病院、⁵北海道大学医学部付属病院、⁶九州大学、⁷(株)江東微生物研究所 東北中央研究所、⁸(株)ビー・エム・エル、⁹(株)エスアールエル、¹⁰(株)三菱化学ピーシーエル、¹¹(株)北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所、¹²ロッッシュ・ダイアグノスティックス(株))

■日時：11月28日(木) 10:40~11:40

■会場：第4会場(会議室131-134)

母子感染

座長 宮澤 豊(東京都立豊島病院産婦人科)
小島賢一(荻原病院)

068 HIV 母子感染予防の臨床的研究(1) この3年間に おける妊婦 HIV 抗体検査率の動向について

林 公一¹、戸谷良造²、喜多恒和²、稲葉憲之²、井村 総一²、大場 悟²、葛西健郎²、北村勝彦²、杉浦 亙²、高野政志²、谷口晴記²、外川正生²、早川 智²、塚原優己²、箕浦茂樹²、保田仁介²、和田裕一²、大久保秀夫²、長縄 聡²、吉野直人²
(¹国立下関病院産婦人科、²平成13年度厚生科学研究費補助金事業「妊産婦のSTD及びHIV陽性率と妊婦のSTD及びHIVの出生児に与える影響に関する研究班」・分担研究「HIV母子感染予防の臨床的研究」)

069 HIV 母子感染予防の臨床的研究(2) 産婦人科領域からの全国調査成績

和田裕一¹、戸谷良造²、喜多恒和²、稲葉憲之²、井村 総一²、大場 悟²、葛西健郎²、北村勝彦²、杉浦 亙²、高野政志²、谷口晴記²、塚原優己²、外川正生²、早川 智²、林 公一²、箕浦茂樹²、保田仁介²、大久保秀雄²、長縄 聡²、吉野直人²
(¹国立仙台病院産婦人科、²平成13年度厚生科学研究費補助金 妊産婦のSTD及びHIV陽性率と妊婦のSTD及びHIVの出生児に与える影響に関する研究班・分担研究 HIV母子感染予防の臨床的研究班)

070 HIV 母子感染予防の臨床的研究(3) 小児科領域からの全国調査成績

外川正生¹、戸谷良造²、喜多恒和²、稲葉憲之²、井村 総一²、大場 悟²、葛西健郎²、北村勝彦²、杉浦 亙²、高野政志²、谷口晴記²、塚原優己²、林 公一²、箕浦茂樹²、保田仁介²、和田裕一²、大久保秀夫²、長縄 聡²、吉野直人²、早川 智²
(¹大阪市立総合医療センター小児内科、²厚生科学研究エイズ対策研究事業・分担研究「HIV母子感染予防の臨床的研究」班)

071 HIV 母子感染予防の臨床的研究(4) HIV 母子感染 予防対策の普及を目的としたマニュアルの改訂

塚原優己¹、戸谷良造²、喜多恒和²、稲葉憲之²、井村 総一²、大場 悟²、葛西健郎²、北村勝彦²、杉浦 亙²、高野政志²、谷口晴記²、外川正生²、早川 智²、林 公一²、箕浦茂樹²、保田仁介²、和田裕一²、大久保秀夫²、長縄 聡²、吉野直人²
(¹国立成育医療センター周産期診療部産科、²厚生科学研究エイズ対策研究事業・分担研究 HIV母子感染予防の臨床的研究班)

072 HIV 母子感染予防の臨床的研究(5) 公開講座参加者へのアンケート結果の解析

谷口晴記¹、戸谷良造²、喜多恒和²、稲葉憲之²、井村 総一²、大場 悟²、葛西健郎²、北村勝彦²、杉浦 亙²、高野政志²、塚原優己²、外川正生²、早川 智²、林 公一²、箕浦茂樹²、保田仁介²、和田裕一²、大久保秀夫²、長縄 聡²、吉野直人²
(¹三重県立総合医療センター産婦人科、²平成13年度厚生科学研究費補助金 妊産婦のSTDおよびHIV陽性率と妊婦のSTDおよびHIVの出生児に与える影響に関する研究班・分担研究 HIV母子感染予防の臨床的研究班)

073 フランスにおけるアフリカ移民を主とした HIV 母子感染予防対策の現状

若杉なおみ¹、CIRARU-VIGNERON Nicole²
(¹国立国際医療センター研究所、²Gynecologie-Obstetrique Hopital LARIBOISIERE)

■日時：11月28日（木）11:50～12:20

■会場：第4会場（会議室131-134）

個別施策層医療

座長 木原正博（京都大学大学院医学研究科）

- 074 外国人HIV/AIDS患者医療の充実の為に—医療の場で活躍できる通訳派遣体制確立に向けて—
宇野賀津子¹、沢田貴志²、内海 真³、菊池恵美子³、吉崎和幸⁴、白阪琢磨⁵
（¹ルイ・パストゥール医学研究センター、²港町診療所、³国立名古屋病院、⁴大阪大学・健康体育部、⁵国立大阪病院）

- 075 在日HIV/AIDSに感染しているラテンアメリカ人とインフォード・コンセント
Genaro Castro-Vazquez¹、樽井正義²
（¹エイズ予防財団、²慶応義塾大学文学部）

- 076 順天堂大学医学部附属順天堂医院におけるHIV感染症例の分析
富田滋久¹、佐藤多恵¹、関谷 栄¹、磯沼 弘¹、松本孝夫²、檀原 高¹、林田康男¹、渡邊一功¹
（¹順天堂大学医学部総合診療科、²東京臨海病院）

■日時：11月28日（木）9:10～10:40

■会場：第5会場（会議室431-432）

感染機構

座長 山岡昇司（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科）
伊藤康彦（三重大学医学部微生物学講座）

- 077 CD4+T細胞のCD38サブセットとHIV-1トロピズムについて
直江真里、Palacios Jose-Alejandro、河本聡志、木ノ本正信、辻 祥太郎、生田和良
（大阪大学微生物病研究所）

- 078 ヒト脳微小血管由来内皮細胞と周皮細胞の共存培養系を用いたHIV-1感染試験
大上厚志、黒崎 大、田中 淳、清水宣明、星野洪郎
（群馬大学医学部衛生学教室）

- 079 扁桃スライス培養を用いたHIV感染細胞の同定と感染維持メカニズムの解析
河野祐治、小柳義夫
（東北大学医学部微生物）

- 080 HIV-1初感染CEM細胞におけるN-myristoyltransferase(NMT)発現変動の解析

沖中茂高¹、高宗暢暁²、三隅将吾³、庄司省三⁴

（¹熊本大学薬学部生化学研究室、²熊本大学薬学部生化学研究室、³熊本大学薬学部生化学研究室、⁴熊本大学薬学部生化学研究室）

- 081 Natural interferon producing cells (IPC) と HIV-1 の相互作用の解析

森田林平¹、堀 利行¹、米澤明仁²、高折晃史¹、門脇則光¹、北脇年雄¹、内山 卓¹

（¹京都大学大学院医学研究科血液病態学、²Gladstone Institute of Virology and Immunology, University of California San Francisco）

- 082 Functional Analyses of a Variant Cell Line Resistant to HIV-1 Infection

Begum Nurjahan、斉藤達哉、山岡昇司、山本直樹
（東京医科歯科大学ウイルス制御学）

- 083 HIV-1 インテグラーゼ変異体の機能解析

池田たま子¹、周Xin¹、大橋 貴¹、奈良信夫²、神奈木真理¹、増田貴夫¹

（¹東京医科歯科大学免疫治療学講座、²東京医科歯科大学臨床検査医学講座）

- 084 HIV pre-integration complexの核内移行の解析
蝦名博貴、小柳義夫

（東北大学医学部微生物学）

- 085 ヒト母乳中マクロファージのIL-4による分化とHIV運搬の可能性

里見操緒¹、市川雅男²、杉田昌彦¹、新谷英滋¹、竹下俊行²、高橋秀実¹

（¹日本医科大学医学部微生物免疫学、²日本医科大学付属病院産婦人科）

■日時：11月28日（木）10:40～11:20

■会場：第5会場（会議室431-432）

HIV 感染の新しい解析法

座長 塩田達雄（大阪大学微生物病研究所免疫生体防御研究部門）

- 086 誘導型Tat 発現細胞を用いた遺伝子発現プロファイル解析

今井健一¹、手塚俊文¹、岡本 尚¹

（¹名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学）

- 087 アフリカ ウガンダ由来HIV感染患者の臨床病態と遺伝子発現プロファイル解析

本村和嗣¹、豊田信明²、大石和徳¹、永井重徳²、永武毅¹、松島綱治²

（¹長崎大学 熱帯医学研究所 感染症予防治療研究分野、²東京大学大学院医学研究科分子予防医学教室）

088 プロテオーム解析による 3 つの HIV-1 関連 cyclophilin A isoform の同定
三隅将吾¹、西牟田いくえ¹、高橋一郎²、高間みちほ²、高宗暢暁¹、庄司省三¹
(¹熊本大学薬学部生化学研究室、²帝京大学医学部中央電子顕微鏡研究室)

089 HIV-1 粒子のプロテオーム解析による p24 アミノ末端ホルミル化の検出
西牟田いくえ¹、三隅将吾¹、高橋一郎²、高間みちほ²、高宗暢暁¹、庄司省三¹
(¹熊本大学薬学部生化学研究室、²帝京大学医学部中央電子顕微鏡研究室)

■日時：11 月 28 日（木）15:30～17:20

■会場：第 5 会場（会議室 431-432）

医療体制

座長 高松純樹（名古屋大学医学部附属病院輸血部）
白阪琢磨（国立大阪病院免疫感染症科）

090 我が国のエイズ診療拠点病院の診療体制について
若生治友¹、亀山敦之²、鈴木智子³、須貝 恵⁴、米倉弥久里⁵、辻 典子⁶、古金秀樹¹、大江昌恵⁷、井上 緑⁸、小池隆夫⁹、佐藤 功³、荒川正昭¹⁰、内海 眞⁵、河村洋一⁶、高田 昇⁷、山本政弘⁸、白阪琢磨¹
(¹国立大阪病院、²北海道大学医学部附属病院、³国立仙台病院、⁴新潟大学医学部附属病院、⁵国立名古屋病院、⁶石川県立中央病院、⁷広島大学医学部附属病院、⁸国立病院九州医療センター、⁹北海道大学大学院医学研究科分子病態制御学講座、¹⁰新潟大学)

091 チーム医療上の問題解決に情報共有ツールを使用して
日比生かおる、伊藤由子
(国立名古屋病院)

092 HIV 専門医療機関と一般診療所の病診連携に関する連携方法の検討
武田謙治、伊藤将子、池田和子、大金美和、福山由美、渡辺 恵、中野恵美子、岡 慎一、木村 哲
(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

093 HIV/AIDS 患者における在宅療養支援の傾向と導入背景の検討
伊藤将子、武田謙治、福山由美、大金美和、池田和子、中野恵美子、渡辺 恵、岡 慎一、木村 哲
(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

094 海外をモデルとした HIV 医療体制の確立に関する研究－オタワ・サンフランシスコ－

高西優子¹、中石朋見¹、木村和子¹、池上千寿子²、桜井賢樹³、沢田貴志⁴、林 素子⁵、圓山誓信⁶、若井 晋⁷、渡辺 恵⁸、白阪琢磨⁹

(¹金沢大学大学院自然科学研究科医療薬学専攻、²ぶれいす東京、³財団法人エイズ予防財団、⁴国際保健協力市民の会、⁵日本福祉大学社会福祉学部保健福祉学科、⁶大阪府吹田保健所、⁷東京大学医学部医学系研究科国際地域保健学教室、⁸国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター、⁹国立大阪病院臨床研究部ウイルス研究室)

095 外国人医療提供体制における日本とカナダ（加）、イギリス（英）、オーストラリア（豪）との比較

中石朋見¹、高西優子¹、木村和子¹、池上千寿子²、桜井賢樹³、沢田貴志⁴、林 素子⁵、圓山誓信⁶、若井 晋⁷、渡辺 恵⁸、白阪琢磨⁹

(¹金沢大学大学院自然科学研究科医療薬学専攻、²ぶれいす東京、³財団法人エイズ予防財団、⁴国際保健協力市民の会、⁵日本福祉大学社会福祉学部保健福祉学科、⁶大阪府吹田保健所、⁷東京大学医学部医学系研究科国際地域保健学教室、⁸国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター、⁹国立大阪病院臨床研究部ウイルス研究室)

096 東京女子医科大学病院における HIV 感染症例の臨床像および背景について（第 2 報）

井戸田一朗、安並 毅、菊池 賢、山浦 常、戸塚恭一
(東京女子医科大学感染症科)

097 エイズブロック拠点病院体制における病病連携に関する研究

菅原美花¹、大野稔子²、内山正子³、山下郁江⁴、伊藤由子⁵、日比生かおる⁵、織田幸子⁶、中田佳子⁷、城崎真弓⁸、池田和子⁹、大金美和⁹、渡辺 恵⁹

(¹国立仙台病院、²北海道大学医学部附属病院、³新潟大学医学部附属病院、⁴石川県立中央病院、⁵国立名古屋病院、⁶国立大阪病院、⁷広島大学医学部附属病院、⁸国立病院九州医療センター、⁹国立国際医療センター)

098 国立大阪病院における受診患者の紹介元医療機関と今後の課題

古金秀樹¹、織田幸子²、中田万貴子²、池尻千乃²、繁浦洋子²、白阪琢磨³

(¹国立大阪病院医事課、²国立大阪病院看護部、³国立大阪病院免疫感染症科)

099 エイズ拠点病院における薬剤師活動の現状調査 (その1)

工藤正樹¹、井門敬子²、桑原 健³、畠井浩子⁴、齋木 一郎⁵、佐藤淳子⁶、下川千賀子⁷、角田ちぬよ⁸、清田 雅子⁹、内藤義博¹⁰、長崎信浩¹¹、堀 成美¹²、岩本愛吉¹³

(¹東京都立駒込病院、²愛媛大学医学部附属病院、³国立大阪病院、⁴広島大学医学部附属病院、⁵神奈川県立厚木病院、⁶東京都立豊島病院、⁷石川県立中央病院、⁸関西HIV臨床カンファレンス、⁹新潟大学医学部附属病院、¹⁰国立仙台病院、¹¹広島市立安佐市民病院、¹²HIV Care Management Initiative-Japan、¹³東京大学医科学研究所)

100 エイズ拠点病院における薬剤師活動の現状 (その2)

井門敬子¹、工藤正樹²、桑原 健³、伊藤洋貴⁴、大木 剛⁴、榎原則寛⁵、角田ちぬよ⁶、長岡宏一⁴、吉野宗宏³、堀 成美⁷、岩本愛吉⁸

(¹愛媛大学医学部附属病院薬剤部、²都立駒込病院薬剤科、³国立大阪病院薬剤部、⁴国立名古屋病院薬剤科、⁵北海道大学医学部附属病院薬剤部、⁶関西HIV臨床カンファレンス、⁷HIV Care Management Initiative-Japan、⁸東京大学医科学研究所)

■日時：11月29日(金) 9:00~10:20

■会場：第1会場(白鳥ホール北)

分子疫学・ウイルス組換

座長 武部 豊(国立感染症研究所エイズ研究センター第1室)
速水正憲(京都大学ウイルス研究所附属エイズ研究施設感染病態研究領域)

127 カンボディアの結核患者におけるHIV-1分子疫学

坂本優子¹、永井慎也²、高浜洋一²、浜口行雄²、小野崎郁史³、吉原なみ子¹

(¹国立感染症研究所 エイズ研究センター、²シスメックス株式会社、³JICA カンボディア結核対策プロジェクト)

128 コンゴ民主共和国におけるHIV-1流行株の分子系統解析

喜多佳世子¹、Ndembi Nicaise¹、武久 盾¹、Raphael Lihana¹、Elijah Songok¹、小林かな¹、竹村太地郎²、井戸栄治²、三浦智行²、速水正憲²、市村 宏¹
(¹金沢大学大学院医学系研究科ウイルス感染症制御学講座、²京都大学ウイルス研究所 感染病態研究領域)

129 Genetic Subtypes of HIV-1 Among the Patients With Sexually Transmitted Diseases (STD) in Nairobi, Kenya.

Raphael Lihana¹、Elijah Songok¹、武久 盾¹、Nicaise Ndembi¹、小林かな²、喜多佳世子¹、大石功³、藤山佳秀⁴、市村 宏¹

(¹金沢大学大学院医学系研究科ウイルス感染症制御学講座、²金沢大学大学院自然科学研究科医療薬学専攻国際保健薬学研究室、³大阪府立公衆衛生研究所公衆衛生部病理、⁴滋賀医科大学第二内科)

130 HIV-1 infection in Pygmy "hunter gatherers" is from contact with Bantu rather than from contact with non-human primates

Ndembi Nicaise¹、武久 盾¹、竹村太地郎²、小林 永治¹、井戸栄治²、三浦智行²、速水正憲²、市村 宏¹
(¹金沢大学大学院医学系研究科ウイルス感染症制御学講座、²京都大学ウイルス研究所感染病態研究領域)

131 PCR法を用いた新型HIV検出システムの確立

武久 盾¹、Nicaise Ndembi¹、竹村太地郎²、Elijah Songok¹、喜多佳世子¹、小林かな³、井戸栄治²、三浦智行²、速水正憲²、市村 宏¹

(¹金沢大学大学院医学系研究科ウイルス感染症制御学講座、²京都大学ウイルス研究所・感染病態、³金沢大学大学院自然科学研究科医療薬学専攻国際保健薬学研究室)

132 EVOLUTION OF HIV-1 IN A DUALY INFECTED INDIVIDUAL: APPEARANCE AND DOMINANCE OF INTERSUBTYPE RECOMBINANT FORM

Elijah Songok¹、Rukia Kibaya¹、武久 盾¹、Raphael Lihana¹、小林かな⁴、Nicaise Ndembi¹、喜多佳世子¹、小林伸好²、藤山佳秀³、市村 宏¹

(¹金沢大学大学院医学系研究科ウイルス感染症制御学講座、²東京大学医科学研究所ウイルス感染研究、³滋賀医科大学第二内科、⁴金沢大学大学院自然科学研究科医療薬学専攻国際保健薬学研究室)

133 HIV-1 組換え型流行株(CRF)間の新規組換えウイルスの分離とその解析

楊 栄閣¹、草川 茂¹、Ben Kunlong²、武部 豊¹
(¹国立感染症研究所 エイズ研究センター 第一室、²中国科学院 昆明動物研究所 免疫学研究室)

134 HIV-1 Subtype A感染性クローンの樹立

巽 正志¹、草川 茂²、武部 豊²、松田道行³
(¹国立感染症研究所獣医学部、²国立感染症研究所エイズ研究センター、³大阪大学微生物病研究所)

■日時：11月29日（金）10:20～11:00

■会場：第1会場（白鳥ホール北）

gp 120・V3

座長 佐藤裕徳（国立感染症研究所遺伝子解析室）

135 V3ループに多様な変異をもつR5 HIV-1ライブラリーの作製とその性質

遊佐敬介、前田洋助、天白 晶、原田信志
（熊本大学医学部感染防御学講座）

136 単一V3抗体分子によるHIV-1の中和

原田信志、天白 晶、遊佐敬介、前田洋助
（熊本大学医学部感染防御）

137 V3 ループペプチドによるgp120の活性化機構

凌 虹、宇佐美 修、服部俊夫
（東北大学医学部感染病態学分野）

138 HIV感染症統合データベースの開発

仲宗根 正¹、染谷健二²、原 敬志²、本多三男¹
（¹国立感染症研究所エイズ研究センター、²科学技術振興事業団、国立感染症研究所）

■日時：11月29日（金）11:00～12:20

■会場：第1会場（白鳥ホール北）

免疫

座長 保富 泰宏（三重大学医学部生体防御医学）
中村真理子（東京慈恵会医科大学微生物学講座）

139 サル免疫不全ウイルス糖鎖欠損エンベロープ蛋白の免疫誘導能の解析

高村史記¹、森 一泰²、武部 豊³、草川 茂³、永井美之⁴、保富康宏¹
（¹三重大学医学部生体防御医学講座、²国立感染症研究所筑波医学実験用霊長類センター、³国立感染症研究所エイズ研究センター、⁴富山県衛生研究所）

140 糖鎖欠失SIV感染ザルに誘導された抗Env抗体エピソードの解析

杉本智恵¹、保富康宏²、塩田達雄³、永井美之⁴、森 一泰⁵
（¹感染研・筑波霊長類センター、²三重大・医・生体防御、³阪大・微研、⁴富山県衛生研究所、⁵感染研・エイズ研究センター）

141 Nef down-regulates CD1 surface expression: Another mechanism for immune evasion by HIV-1

Eiji Shinya, Tetsuo KAWASHIMA, Junko TAKEUCHI, Atsuko Owaki, Masumi SHIMIZU, Chizuno HIDAKA, Masahiko SUGITA, Hidemi TAKAHASHI
（Dept.Microbiol.&Immunol., Nippon Medical School）

142 HIV-1感染拡大を阻止するヒトIgMモノクローナル抗体

岡田則子、Yin Shuping、岡田秀親
（名古屋市立大学大学院医学研究科生体防御学）

143 Dual tropic virusに対する中和抗体活性とcoreceptor usage

木村哲也、吉村和久、小糸 厚、松下修三
（熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野）

144 人工タンパク質を用いたHIV gp120に対する中和抗体作製法の開発

中村真理子¹、芝 清隆²、大野典也¹
（¹東京慈恵会医科大学微生物学講座第1、²癌研究会癌研究所蛋白創薬研究部）

145 CTL-mediated suppression of HIV-1 replication irrelevant of antigen-specificity.

劉 慧寧、大橋 貴、Xin Zhou、久保 誠、増田貴夫、神奈木真理
（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 免疫治療学）

146 Non-clade B HIV-1の臨床検体由来gag-pol発現標的細胞作成系の確立

横幕能行¹、三浦秀佳²、有吉紅也¹、松田善衛¹
（¹国立感染症研究所エイズ研究センター、²国立精神神経センター）

■日時：11月29日（金）9:00～9:40

■会場：第2会場（レセプションホール）

症例報告（1）

座長 今村顕史（東京都立駒込病院感染症科）

101 食道カンジダ症と大腸アメーバ症を伴うCMV食道・大腸潰瘍を合併したCD4>200/μlのHIV感染症の一例

四本美保子¹、北野喜良²
（¹信州大学医学部附属病院第二内科学教室、²国立松本病院）

- 102 イソスポーラ症によりAIDSを発症した1例
中村 朗、神戸敏行
(総合病院国保旭中央病院 内科)
- 103 HAART導入後全身性リンパ節結核を発症し、抗結核療法開始後に更に肺結核を発症し長期排菌が持続した一症例
小河原光正¹、坂谷光則¹、松浦基夫²
(¹国立療養所近畿中央病院内科、²市立堺病院内科)
- 104 Amphotericin B Lipid Complex Injectionの投与にて効果を認めたクリプトコッカス髄膜炎の一例
大瀧 学、西田恭治、藤田 進、天野景裕、山元泰之、福武勝幸
(東京医科大学医学部臨床検査医学科)
- 105 HAART療法と帯状疱疹
佐中 隆¹、後藤守孝¹、川杉和夫¹、合地研吾²、松田重三¹
(¹帝京大学医学部内科学講座、²賛育会病院内科)

■日時：11月29日(金) 9:40~10:20

■会場：第2会場(レセプションホール)

症例報告(2)

座長 中村哲也(東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科)

- 106 多彩な免疫再構築症候群を呈した1例
守谷研二¹、天野景裕²、佐々木昭仁²、山中 晃²、藤田 進²、福武勝幸²
(¹東京医大病院臨床検査医学科、国立感染症研究所エイズ研究センター、²東京医大病院臨床検査医学科)
- 107 HIV感染症者に合併したアシクロビル耐性単純ヘルペスウイルス感染症2例の臨床的検討
笠井大介、味澤 篤、菅沼明彦、今村顕史、根岸昌功
(東京都立駒込病院)
- 108 頭部MRI画像と臨床症状の経過にかいりを呈したHIVにPMLを合併した1症例
倉井大輔、味澤 篤、笠井大介、皿谷 健、鈴木瑞佳、菅沼明彦、今村顕史、根岸昌功
(都立駒込病院感染症科)
- 109 EBV関連リンパ増殖性疾患を呈したHIV感染症の1症例
吉田邦仁子¹、上田晃弘¹、田沼順子¹、矢崎博久¹、川田真幹²、本田美和子¹、湯永博之¹、源河いくみ¹、照屋勝治¹、立川夏夫¹、菊池 嘉¹、安岡 彰³、岡 慎一¹、木村 哲¹
(¹国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター、²東京大学医学部附属病院感染制御部 感染症内科、³富山医科薬科大学 感染予防医学)

- 110 サイトメガロウイルスによるAIDS cholangio-pathyの一例
貫井陽子、畠山修司、森澤雄司、塚田訓久、太田康男、小池和彦、木村 哲
(東京大学医学部附属病院感染症内科)

■日時：11月29日(金) 10:20~11:00

■会場：第2会場(レセプションホール)

症例報告(3)

座長 松下修三(熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野)

- 111 CD4陽性細胞数低値が推定された時期にクロン病を発病したHIV感染症の1例
池谷 健
(藤枝市立総合病院小児科)
- 112 HAARTの奏効後に再燃した肺Kaposi肉腫の一例
小田原 隆¹、高橋 孝¹、遠藤宗臣¹、三浦聡之¹、鯉淵智彦¹、中村仁美¹、小柳津直樹²、中村哲也¹、岩本愛吉¹
(¹東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野、²東京大学医科学研究所附属病院検査部)
- 113 HIV-associated idiopathic esophageal ulcerの穿孔と食道胸腔瘻形成による膿胸を合併した一例
白井 輝¹、松田香織²、斎藤真理²、石ヶ坪良明³
(¹横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター感染症医療センター、²横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター総合内科、³横浜市立大学医学部内科学第一講座)
- 114 全身リンパ節腫脹および肺腫瘍影で発見され、経過中全身リンパ浮腫を伴い、カポジ肉腫の多発を認めたAIDSの一剖検例
三宅敦子¹、倉井大輔²、石井晴之¹、藤田 明¹
(¹東京都立府中病院、²東京都立駒込病院)
- 115 小脳転移でみつかった肺癌を合併したHIV感染症の1例
宇野健司、古西 満、善本英一郎、高橋 賢、笠原敬、三笠桂一、木村 弘
(奈良県立医科大学第2内科)

■日時：11月29日（金）11:00～11:40

■会場：第2会場（レセプションホール）

症例報告（4）

座長 日笠 聡（兵庫医科大学総合第二内科）

- 116 横紋筋融解症を合併した急性HIV感染症の一例
内海英貴¹、秋葉 徹¹、合田 史²、野島美久¹
（¹群馬大学医学部第三内科、²公立藤岡総合病院）
- 117 重症AIDS患者に発症した腓骨筋膿瘍の一例
上田晃弘¹、吉田邦仁子¹、田沼順子¹、矢崎博久¹、砂川恵伸¹、湯永博之¹、源河いくみ¹、照屋勝治¹、立川夏夫¹、菊池 嘉¹、安岡 彰²、岡 慎一¹、木村 哲¹
（¹国立国際医療センター、²富山医科薬科大学）
- 118 HIV陽性患者に生じたHPV16型陽性の陰茎ボーエン病一例
塚田弘樹¹、小原竜軌¹、西堀武明¹、下条文武¹、内山正子²、島 典子²、岡本幸子²
（¹新潟大学大学院医歯学総合研究科感染制御学分野（第二内科）、²新潟大学医学部附属病院感染症管理室）
- 119 慢性腎不全に対する維持透析療法を導入後、HAARTを開始した血友病Aの一例
政氏伸夫¹、川村孝仁¹、堤 豊¹、小原慎司¹、松嶋 喬¹、宮坂大介²、西村祥二³、渡邊伸一郎³、山田裕一³、柳沼樹宏⁴、川田真幹⁴、源河いくみ⁴、岡 慎一⁴
（¹市立函館病院内科、²釧路労災病院内科、³市立函館病院泌尿器科、⁴国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）
- 120 抗HIV薬が原因と考えられる乳酸アシドーシス・ギランバレー様症状を発症したHIV感染症の1例
江平宣起¹、山本桂子¹、米積昌克¹、千葉広司¹、近藤健¹、橋野 聡¹、浅香正博¹、田中淳司²、今村雅寛²
（¹北海道大学医学部第三内科、²北海道大学医学部血液内科1）

■日時：11月29日（金）11:40～12:28

■会場：第2会場（レセプションホール）

症例報告（5）

座長 岡 慎一（国立国際医療センター）

- 121 エファビレンツによる光線過敏症が疑われた1例
善本英一郎¹、古西 満¹、高橋 賢¹、笠原 敬¹、宇野健司¹、三笠桂一¹、木村 弘¹、山科幸夫²
（¹奈良県立医科大学、²奈良県立医科大学皮膚科）
- 122 Efavirenz（EFV）による光線過敏症の1例
高橋華子、味澤 篤、菅沼明彦、今村顕史、根岸昌功（都立駒込病院）

- 123 プロテアーゼ阻害剤からエファビレンツに変更後てんかん発作を再発した一例

（中村真紀子¹、畝井浩子¹、藤田啓子¹、藤井輝久²、高田 昇³、木平健治¹）

（¹広島大学医学部附属病院薬剤部、²広島大学医学部附属病院輸血部、³広島大学医学部附属病院エイズ医療対策室）

- 124 システムの狭間で遠く転院を余儀なくされた進行性多巣性白質脳症（PML）の一例

具 芳明¹、岡田邦彦²、青松棟吉³

（¹佐久総合病院内科、²佐久総合病院救命救急センター、³佐久総合病院総合診療科）

- 125 当院で初めて経験したHIV感染妊婦に対する選択的帝王切開術施行例

西川由利¹、小瀬戸昌博¹、繁田 実¹、古川美保子¹、西真由美¹、水原千佳¹、伊藤麻里子²、五島真理為²、出口 均¹

（¹公立学校共済組合 近畿中央病院、²HIVと人権・情報センター）

- 126 回盲部に穿孔を生じ腸管バーチェットが疑われたHIV-1感染者の1例

鯉淵智彦¹、遠藤宗臣²、三浦聡之²、中村仁美²、小田原 隆²、高橋 孝²、竹内賢吾³、小柳津直樹³、中村哲也¹、岩本愛吉²

（¹東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科、²東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野、³東京大学医科学研究所附属病院検査部）

■日時：11月29日（金）14:30～15:10

■会場：第2会場（レセプションホール）

看護1

座長 橋口桂子（国立名古屋病院）

- 147 当院のチーム医療における問題と課題：看護の視点から

織田幸子¹、中田万貴子¹、繁浦洋子¹、蓑内公子²、岳中美江²、安尾利彦²、吉野宗雄³、桑原 健³、藤 純一郎⁴、上平朝子⁴、上田千里⁴、白阪琢磨⁴

（¹国立大阪病院看護部、²国立大阪病院臨床研究部、³国立大阪病院薬剤部、⁴国立大阪病院免疫感染症科）

- 148 HIV/AIDS専任看護師による外来患者療養相談・指導に関する調査

福山由美¹、渡辺 恵²、大金美和²、池田和子²、武田謙治²、中野恵美子¹、伊藤将子²、岡 慎一²、木村 哲²

（¹国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター、（財）エイズ予防財団、²国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

- 149 HIV/AIDS患者からみる外来
高城由美子、別府千恵
(北里大学病院)

- 150 HIV感染者の通院中断に対する効果的なアプローチの検討
有馬美奈、岸 晶子、大堀香津子、進藤亜子、光村真弓
(都立駒込病院)

■日時：11月29日(金) 15:10~15:50

■会場：第2会場(レセプションホール)

看護2

座長 市橋恵子 (有限会社オフィスグレイス)
訪問看護ステーション堂山)

- 151 エイズ拠点病院における看護師の抱える不安と困難
南家貴美代¹、前田ひとみ²、渡辺 恵³
(¹熊本大学医療技術短期大学部、²宮崎医科大学医学部看護学科、³国立国際医療センター)

- 152 ゲイのHIV感染患者のセルフケアにおける課題と援助の検討
大野稔子
(北海道大学医学部附属病院)

- 153 HIV/AIDS看護におけるクリティカルパス作成の試み
桜井里美、佐久間浩子、小林 恵
(東京大学医科学研究所附属病院)

- 154 HIV/AIDS看護研究会によるHIV感染者のためのセルフケアブック作成の試み
有馬美奈、竹内輝江
(HIV/AIDS看護研究会)

■日時：11月29日(金) 15:50~16:40

■会場：第2会場(レセプションホール)

看護3

座長 村上未知子 (東京大学医科学研究所相談室)

- 155 エイズ拠点病院とブロック拠点病院における看護職員教育のあり方ー平成13年度国立病院療養所共同基盤研究班ー
北野千代美¹、繁浦洋子¹、荒木輝美¹、岩見有里子¹、井内典子¹、村井松美²、長澤若子³、吉野育美⁴、大藪定子⁵、小林陽子⁶
(¹国立大阪病院、²国立京都病院、³国立舞鶴病院、⁴国立大阪南病院、⁵国立療養所敦賀病院、⁶国立療養所福井病院)

- 156 HIV/AIDS患者におけるフットケアに対する取り組みー実態調査からパンフレット作成までー
山本裕子、鈴木直子、鈴木明美、浅沼智恵
(国立国際医療センターAIDS治療研究開発センター病棟)

- 157 抗HIV薬が原因と考えられる乳酸アシドーシス・ギランバレー様症状発症したAIDS患者への看護支援
大野稔子
(北海道大学医学部附属病院)

- 158 HIV 陽性患者における通院状況の評価と課題
鈴木祐見子¹、鎌田智恵子¹、天野景裕²、西田恭治²、山元泰之²、福武勝幸²
(¹東京医科大学病院 看護部、²東京医科大学病院 臨床検査医学講座)

- 159 HIV/AIDS感染者の援助者への看護ートキソプラズマ脳炎による意識障害のある事例を通してー
三村佳美、光村真弓、岸 晶子
(東京都立駒込病院)

■日時：11月29日(金) 9:00~10:00

■会場：第3会場(会議室141-142)

Vpr

座長 増田貴夫 (東京医科歯科大学医学系研究科免疫治療学)
生田和良 (大阪大学微生物病研究所ウイルス免疫分野)

- 160 細胞内HIV-1 Vprが誘導するG1期arrestを介したアポトーシス機構の解析
我妻昭彦、間 陽子
(理化学研究所分子ウイルス学研究ユニット)

- 161 HIV-1 Vprの抗アポトーシス活性とp21のup-regulation
間 陽子、蒲田政和、我妻昭彦
(理化学研究所分子ウイルス学研究ユニット)

- 162 マクロファージ感染におけるHIV-1 vpr遺伝子の機能
飯島沙幸¹、庄 文忠¹、横田恭子²、三輪正直³、間 陽子¹
(¹理化学研究所分子ウイルス学研究ユニット、²国立感染症研究所免疫部、³筑波大学基礎医学系)

- 163 Importin α によるHIV-1 Vpr の核移行に関する解析
仁田原優子、蒲田政和、間 陽子
(理化学研究所分子ウイルス学研究ユニット)

- 164 α -globin2 pre-mRNA を用いたHIV-1 Vprによる
スプライシング阻害の解析
倉光 球、蒲田政和、我妻昭彦、橋爪智恵子、間 陽子
(理化学研究所分子ウイルス学研究ユニット)

- 165 新規HIV-1 Vpr結合蛋白SAP145の解析
橋爪智恵子、倉光 球、蒲田政和、磯貝まや、我妻昭彦、間 陽子
(理化学研究所分子ウイルス学研究ユニット)

■日時：11月29日(金) 10:00~10:40

■会場：第3会場(会議室141-142)

Rev. Vif. Vpx. Vpu

座長 木村富紀(関西医科大学微生物学講座)

- 166 HIV RNAの輸送因子CRM1の抹消リンパ球における発現制御
志田壽利¹、田中勇悦²、横田恭子³
(¹北海道大学遺伝子病制御研究所、²琉球大学医学部付属沖縄・アジア医学研究センター、³国立感染症研究所)

- 167 マクロファージとリンパ球系細胞でのHIV-2増殖にそれぞれ特異的に関与するVpx内領域
藤田美歌子、櫻井 明子、上野史子、足立昭夫
(徳島大学大学院医学研究科プロテオミクス医科学専攻ウイルス病原学分野)

- 168 HIV-1 Vif蛋白質の安定化に必須なアミノ酸配列
藤田美歌子、櫻井明子、上野史子、足立昭夫
(徳島大学大学院医学研究科プロテオミクス医科学専攻ウイルス病原学分野)

- 169 HIV-1 CRF01_AE株のみに高率に認められるvpu遺伝子欠損
木ノ本正信¹、河本聡志¹、直江真里¹、辻 祥太郎¹、大竹 徹²、生田和良¹
(¹阪大・微研・ウイルス免疫、²大阪府公衛研・病理)

■日時：11月29日(金) 10:40~11:40

■会場：第3会場(会議室141-142)

転写1

座長 松岡雅雄(京都大学ウイルス研究所附属エイズ研究施設)
金澤 智(名古屋市立大学医学部)

- 170 cAMP/PKAはNF- κ Bを介してHIV1-LTR活性化を抑制する
手塚俊文、高橋なを子、浦西宏明、岡本 尚
(名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学)

- 171 Caシグナルはcalpainを介してNF- κ Bを活性化し潜伏感染細胞からのHIV複製を誘導する
寺西 太¹、劉 正秋¹、手塚俊文¹、佐々木 實²、岡本 尚¹
(¹名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学、²名古屋市立大学医学部第二生化学)

- 172 新規NF- κ B結合分子によるHIV LTR活性化機構
朝光かおり、Sarol Lilen、金澤 智、手塚俊文、岡本尚
(名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学)

- 173 Silencing HIV gene expression with double stranded RNA to NF- κ B binding site
鈴木一雄
(Centre for Immunology, Saint Vincent's Hospital)

- 174 CpGメチル化によらないHIVの潜伏様式
濱野章子、石田尚臣、渡邊俊樹
(東京大学医科学研究所 人癌病因遺伝子分野)

- 175 HIV 5'-LTR特異的CpGメチル化と再活性化シグナルによるCpG脱メチル化
石田尚臣、濱野章子、小岩 司、渡邊俊樹
(東京大学医科学研究所 人癌病因遺伝子分野)

■日時：11月29日(金) 11:40~12:20

■会場：第3会場(会議室141-142)

転写2

座長 渡邊俊樹(東京大学医科学研究所人癌病因遺伝子分野)

- 176 T細胞補助刺激TNF受容体ファミリー分子OX40のHIV-1感染促進と制御
高橋良明¹、吉田篤司¹、田中礼子¹、山本直樹²、田中勇悦¹
(¹琉球大学医学部附属沖縄・アジア医学研究センター感染免疫学、²東京医科歯科大学大学院ウイルス制御学)

- 177 RAIによるTat およびheterologous RNAエンハンサーの阻害効果
今井健一、金澤 智、高田統夫、手塚俊文、岡本 尚
(名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学)

- 178 HIV-1 Tat Zn-finger domainに対する特異抗体の抗HIV活性
大坪靖治、三隅将吾、高宗暢暁、庄司省三
(熊本大学薬学部生化学研究室)

- 179 環境汚染物質のHIV-1複製への影響とその作用機序の解析**
大畑広和¹、手塚俊文¹、林 秀敏²、小野寄菊夫²、岡本 尚¹
(¹名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学、²名古屋市立大学大学院薬学研究科生体防御機能学)

■日時：11月29日(金) 9:00~10:10

■会場：第4会場(会議室131-134)

カウンセリング

座長 小島賢一(荻窪病院)

- 180 カウンセラー支援ネットワークの構築に関する研究**
小島賢一¹、森田眞子²、日高康晴³、福武勝幸⁴、山元泰之⁴、今村顕史⁵
(¹荻窪病院血液科、²エイズ予防財団、³京都大学大学院医学研究科国際保健学、⁴東京医科大学臨床検査医学教室、⁵東京都立駒込病院感染症科)
- 181 拠点病院心理職のHIV医療への関りとその認識—HIV医療と拠点病院心理職の実態調査から(1)**
高田知恵子¹、矢永由里子²、古谷野淳子³、仲倉高広⁴、山中京子⁵、加瀬まさよ⁶、田上恭子⁷、山下美津江⁸、島典子⁹、菊池恵美子¹⁰、安尾利彦¹¹、喜花伸子¹²
(¹東京都健康局医療サービス部、²国立病院九州医療センター、³大阪府健康福祉部感染症・難病対策課、⁴京都府健康対策課、⁵大阪府立大学、⁶北海道大学医学部附属病院、⁷国立仙台病院、⁸県立石川病院、⁹新潟大学医学部附属病院、¹⁰国立名古屋病院、¹¹国立大阪病院、¹²広島大学附属病院)
- 182 派遣/ブロックカウンセラーと拠点病院心理職の連携可能性—HIV医療と拠点病院勤務心理職の実態調査から(2)**
古谷野淳子¹、矢永由里子²、高田知恵子³、仲倉高広⁴、山中京子⁵、加瀬まさよ⁶、田上恭子⁷、山下美津江⁸、島典子⁹、菊池恵美子¹⁰、安尾利彦¹¹、喜花伸子¹²
(¹大阪府健康福祉部感染症・難病対策課、²国立病院九州医療センター、³東京都健康局医療サービス部、⁴京都府健康対策課、⁵大阪府立大学、⁶北海道大学医学部附属病院、⁷国立仙台病院、⁸県立石川病院、⁹新潟大学医学部附属病院、¹⁰国立名古屋病院、¹¹国立大阪病院、¹²広島大学医学部附属病院)
- 183 広島大学医学部附属病院における感染不安の高いHIV検査希望者へのカウンセラーのかかわり**
喜花伸子¹、中田佳子¹、高田 昇¹、藤井輝久²、畝井和彦³、西村 裕¹
(¹広島大学医学部附属病院エイズ医療対策室、²広島大学医学部附属病院輸血部、³広島大学医学部附属病院小児科)

- 184 東京都専門相談員の派遣依頼の実態について**
神谷昌枝¹、谷津洋子¹、日高津多子²、松本智子¹、吉田幸子¹、内野ナンティア¹、吉田容子¹、高田知恵子¹、前田秀雄¹
(¹東京都健康局医療サービス部感染症対策課エイズ対策係、²多摩立川保健所)

- 185 ピアカウンセラーと専門カウンセラーの連携に関する研究(1)**
磯部典子¹、内野悌司¹、藤井輝久²、平岡 毅³、塚本弥生⁴、藤井宝恵⁵、藤原良次⁶、兒玉憲一⁷
(¹広島大学保健管理センター、²広島大学医学部附属病院、³県立広島病院、⁴社会保険広島市民病院、⁵広島大学医学部保健学科、⁶りょうちゃんず、⁷広島大学大学院教育学研究科)

- 186 国立大阪病院でのHIV医療におけるカウンセリング実施状況**
カウンセリング開始時期および実施期間によるテーマの分析
安尾利彦¹、西村輝明²、白阪琢磨³、織田幸子⁴、上平朝子³、藤 純一郎³、上田千里³
(¹国立大阪病院臨床研究部、²甲南大学大学院、³国立大阪病院免疫感染症科、⁴国立大阪病院看護部)

■日時：11月29日(金) 10:10~10:50

■会場：第4会場(会議室131-134)

社会的支援(1)

座長 小西加保留(桃山学院大学)

- 187 HIV感染者の地域生活支援におけるソーシャルワーカーの連携に関する研究**
小西加保留¹、生島 嗣²、榎本てる子³、田中千枝子⁴、仲倉高広⁵
(¹桃山学院大学社会学部社会福祉学科、²ぶれいす東京、³バザールカフェ代表・大阪市派遣カウンセラー、⁴東海大学、⁵京都府派遣カウンセラー)
- 188 関東圏(東京都除く)の医療社会福祉学的援助体制に関する研究**
神谷昌枝¹、山本博之²、荻野員也³、高山俊雄⁴
(¹東京都健康局医療サービス部感染症対策課エイズ対策係、²聖カタリナ女子大学社会福祉学部、³成城大学大学院文学研究科博士過程、⁴東京都立駒込病院医療相談室)
- 189 関東圏の感染状況に応じた医療社会福祉学的援助体制に関する研究**
山本博之¹、神谷昌枝²、荻野員也³、高山俊雄⁴
(¹聖カタリナ女子大学社会福祉学部、²東京都健康局医療サービス部感染症対策課エイズ対策係、³成城大学大学院文学研究科博士過程、⁴東京都立駒込病院医療相談室)

- 190 CMV網膜炎の失明で長期入院していた症例の退院支援
古西 満、笠原 敬、善本英一郎、高橋 賢、宇野健司、三笠桂一
(奈良県立医科大学第2内科)

■日時：11月29日（金）10:50～11:40
■会場：第4会場（会議室131-134）

社会的支援（2）

座長 生島 嗣（ぷれいす東京）

- 191 あるHIV感染者の語り
菊池恵美子
(国立名古屋病院、財団法人エイズ予防財団)
- 192 HIV陽性者に対するバディ派遣サービスの利用に関する考察
牧原信也、生島 嗣、池上千寿子
(特定非営利活動法人ぷれいす東京)
- 193 エイズに関する普及啓発における非政府組織(NGO)の活用に関する研究その3 栄養支援ニーズへの取り組み
木下ゆり¹、五島真理為¹、東 祐子¹、新庄文明²
(¹HIVと人権・情報センター、²長崎大学大学院)
- 194 新HIV陽性者対象サポートグループ PEER Group Meetingの意義と今後の課題（第2報）
福原寿弥¹、生島 嗣¹、出村ひとみ¹、矢島 嵩²
(¹特定非営利活動法人 ぷれいす東京、²PGMスタッフ)
- 195 HIV感染者における性機能障害の実態調査
村上未知子¹、小林 恵²
(¹東京大学医科学研究所附属病院相談室、²東京大学医科学研究所附属病院)

■日時：11月29日（金）11:40～12:10
■会場：第4会場（会議室131-134）

薬害エイズ

座長 井上洋士（東京大学大学院医学系研究科健康社会学教室）

- 196 薬害HIV感染被害者遺族の経験とニーズに関する調査研究
ー第1報：遺族からみたHIV感染発生・拡大当時の状況
若林チヒロ¹、井上洋士²、木村知香子²、山崎喜比古²、関 由起子³、丸山由香⁴、熊谷たまき²、的場智子⁵、溝田友里²、藤村一美²、久地井寿哉²、岡田直人⁶、大平勝美⁷、花井十伍⁷、瀬戸信一郎⁷、山西美明⁷、仁科 豊⁷、坂本加代子⁷、石田久江⁷、江口洋子⁷
(¹埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科、²東京大学大学院医学系研究科健康社会学分野、³群馬大学医学部保健学科、⁴大阪市立大学大学院生活科学研究科、⁵日本学術振興会、⁶大谷女子大学、⁷薬害HIV感染被害者（遺族）生活被害実態調査委員会）
- 197 薬害HIV感染被害者遺族の経験とニーズに関する調査研究
ー第2報：遺族の被害実態とその特徴
井上洋士¹、若林チヒロ²、木村知香子¹、山崎喜比古¹、丸山由香³、熊谷たまき¹、関 由起子⁴、的場智子⁵、溝田友里¹、藤村一美¹、久地井寿哉¹、岡田直人⁶、大平勝美⁷、花井十伍⁷、瀬戸信一郎⁷、山西美明⁷、仁科 豊⁷、坂本加代子⁷、石田久江⁷、江口洋子⁷
(¹東京大学大学院医学系研究科健康社会学分野、²埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科、³大阪市立大学大学院生活科学研究科、⁴群馬大学医学部保健学科、⁵日本学術振興会、⁶大谷女子大学、⁷薬害HIV感染被害者（遺族）生活被害実態調査委員会）
- 198 薬害HIV感染被害者遺族の経験とニーズに関する調査研究
ー第3報：遺族は被害へいかに対応し、何を願い、必要としてきたか
木村知香子¹、井上洋士¹、若林チヒロ²、山崎喜比古¹、関 由起子³、丸山由香⁴、熊谷たまき¹、的場智子⁵、溝田友里¹、藤村一美¹、久地井寿哉¹、岡田直人⁶、大平勝美⁷、花井十伍⁷、瀬戸信一郎⁷、山西美明⁷、仁科 豊⁷、坂本加代子⁷、石田久江⁷、江口洋子⁷
(¹東京大学大学院医学系研究科健康社会学、²埼玉県立大学保健医療社会学部社会福祉学科、³群馬大学医学部保健学科、⁴大阪市立大学大学院生活科学研究科、⁵日本学術振興会、⁶大谷女子大学、⁷薬害HIV感染被害者（遺族）生活被害実態調査委員会）

一般演題

■日時：11月29日（金）12:10～13:00

■会場：第4会場（会議室131-134）

NGO/CBO 活動

座長 根岸昌功（東京都立駒込病院）

- 199 エイズに関する普及啓発における非政府組織（NGO）の活用に関する研究その5 エイズ電話相談にみるHIV陽性者の現状
平松 茂¹、五島真理為¹、今井文一郎¹、高橋礼子¹、谷津洋子²、新庄文明³
（¹HIVと人権・情報センター、²東京都健康局医療サービス部感染症対策課エイズ対策係、³長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）
- 200 エイズに関する普及啓発における非政府組織（NGO）の活用に関する研究その1 全国のAIDS/NGO構成員の活動の実情に関する調査
五島真理為¹、白井良和¹、木下ゆり¹、平松 茂¹、池上正仁¹、今井文一郎¹、米子香苗¹、新庄文明²、中瀬克己³、石丸径一郎⁴、ケイトリン ストロネル⁵
（¹HIVと人権・情報センター、²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、³岡山市保健所、⁴東京大学大学院、⁵エイズ予防財団（HIVと人権・情報センター））
- 201 エイズに関する普及啓発における非政府組織（NGO）の活用に関する研究その2 保健所ならびに行政機関によるAIDS/NGOの活用
五島真理為¹、中瀬克己²、佐甲 隆³、白井良和¹、木下ゆり¹、米子香苗¹、新庄文明⁴
（¹HIVと人権・情報センター、²岡山市保健所、³三重県松阪保健所、⁴長崎大学）
- 202 エイズに関する普及啓発における非政府組織（NGO）の活用に関する研究その4 AIDS/NGOの実施する若者相互の啓発プログラムの評価に関する研究
ケイトリン ストロネル¹、伊藤麻里子²、木下ゆり²、五島真理為²、新庄文明⁴、中瀬克己⁵、山本 勉⁶、伊藤葉子³
（¹エイズ予防財団（HIVと人権・情報センター）、²HIVと人権・情報センター、³中京大学、⁴長崎大学、⁵岡山市保健所、⁶岡山県立短期大学）
- 203 東京HIV診療ネットワーク活動報告第6報
根岸昌功、青木 眞、味澤 篤、天野景裕、磐井静江、岩本愛吉、木村 哲、小島賢一、西田恭治、花房秀次、桜井賢樹、平林直次、福江英尚、福武勝幸、堀 成美、松本宏之、山元泰之
（東京HIV診療ネットワーク）

■日時：11月29日（金）14:30～15:00

■会場：第4会場（会議室131-134）

日和見感染

座長 服部俊夫（東北大学大学院医学系研究科）

- 206 タイ北部HIV感染蔓延地域における結核対策改善と多剤耐性結核の頻度の減少：チェンライ県での国際共同研究（TB/HIV Research Project）の活動
野内英樹
（（財）結核予防会結核研究所）
- 204 HIV感染症にともなう真菌感染症の検討
高橋 賢、古西 満、善本英一郎、宇野健司、笠原敬、三笠桂一、木村 弘
（奈良県立医科大学 第二内科）
- 205 BALにて診断されたAIDS合併カリニ肺炎5例の細胞診学的検討
河原邦光¹、上平朝子²、藤 純一郎²、上田千里²、大谷成人²、白阪琢磨²
（¹国立大阪病院 臨床検査科 病理、²国立大阪病院 免疫感染症科）

■日時：11月29日（金）15:00～15:50

■会場：第4会場（会議室131-134）

合併症

座長 山元泰之（東京医科大学臨床検査医学講座）

- 207 HIV感染症における骨代謝異常の解析
古西 満、善本英一郎、高橋 賢、宇野健司、笠原敬、三笠桂一
（奈良県立医科大学第2内科）
- 208 当科で経験した悪性リンパ腫合併AIDS、6症例の臨床的検討
伊藤俊広¹、佐藤 功¹、鈴木博義²
（¹国立仙台病院内科、²国立仙台病院病理）
- 209 本邦在住のHIV-1感染者におけるヒトヘルペスウイルス8型のサブタイプ分類とカポジ肉腫の関連性
遠藤宗臣¹、三浦聡之¹、鯉渕智彦²、中村仁美¹、高橋孝¹、小田原 隆¹、後藤美江子¹、味澤 敦³、中村哲也²、岩本愛吉³
（¹東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野、²東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染免疫内科、³東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野/東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染免疫内科、⁴東京都立駒込病院感染症科）

- 210 当院におけるHIV感染症に合併したアメーバ性肝膿瘍についての検討
森 雅江、今村顕史、菅沼明彦、味澤 篤、根岸昌功
(東京都立駒込病院感染症科)

- 211 頸部リンパ節針生検を行ったHIV感染者3例
Itoda Ichiro¹、安並 毅¹、菊池 賢¹、山浦 常¹、戸塚恭一¹、斎藤 登²、味澤 篤³
(¹東京女子医科大学、²東京女子医科大学第二外科、³東京都立駒込病院感染症科)

■日時：11月29日(金) 15:50～16:20

■会場：第4会場(会議室131-134)

肝炎

座長 福田吉秀(名古屋大学医学部第2内科)

- 212 わが国のHIV感染血液凝固異常症におけるC型肝炎の現状と治療の状況
瀧 正志¹、立浪 忍²、白幡 聡³、三間屋純一⁴、山田兼雄⁵
(¹聖マリアンナ医科大学小児科、²聖マリアンナ医科大学附属研究施設、³産業医科大学小児科、⁴静岡県立こども病院血液腫瘍科、⁵エイズ予防財団)

- 213 HIV/HCV感染者におけるHit early and hardの有効性
花房秀次¹、太田美緒¹、和田育子¹、加藤真吾²
(¹荻窪病院血液科、²慶應義塾大学微生物)

- 214 HIV感染症に合併したC型慢性肝炎に対するIFN単独およびリバビリン併用療法の検討
皿谷 健、味澤 篤、菅沼明彦、今村顕史、根岸昌功、笠井大介、倉井大輔、鈴木瑞佳
(都立駒込病院感染症科)

■日時：11月30日(土) 11:00～11:30

■会場：第2会場(レセプションホール)

歯科

座長 松本宏之(東京医科歯科大学歯学部附属病院)

- 215 HIV感染者の歯科受診の状況と患者のニーズ～28名のHIV患者の意見から～
藤代洋子¹、関根千恵子¹、柏 春枝¹、渋谷和枝¹、大石 毅²、高橋一郎²、福江英尚²
(¹東京医科大学霞ヶ浦病院感染症科病棟、²東京医科大学霞ヶ浦病院 感染症科)

- 216 HIV/AIDS患者に対する歯科受診支援事例の検討
中野恵美子¹、千綿かおる²、田上 正³、池田和子⁴、伊藤将子⁴、大金美和⁴、武田謙治⁴、福山由美¹、渡辺 恵⁴、岡 慎一⁴、木村 哲⁴
(¹国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター、(財)エイズ予防財団、²前国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター、³国立国際医療センター 歯科口腔外科、⁴国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

- 217 HIV/AIDS感染者における唾液中カンジダ菌と口腔状態との関連について
松本宏之
(東京医科歯科大学歯学部附属病院感染対策歯科治療部)

■日時：11月30日(土) 11:30～12:20

■会場：第2会場(レセプションホール)

性感染症

座長 川名 尚(帝京大学医学部附属溝口病院)

- 218 HIV感染者における子宮頸部異形成とヒトパピローマウイルス(HPV)感染
服部里佳¹、永松あかり¹、五味淵秀人¹、箕浦茂樹¹、源河いくみ²、照屋勝治²、立川夏夫²、安岡 彰²、菊池嘉²、岡 慎一²
(¹国立国際医療センター 産科婦人科、²国立国際医療センター エイズ研究開発センター)

- 219 HIV感染者におけるSexually Transmitted Infectionの検討
田沼順子¹、上田晃弘¹、吉田邦仁子¹、矢崎博久¹、湯永博之¹、源河いくみ¹、照屋勝治¹、立川夏夫¹、菊池嘉¹、岡 慎一¹、木村 哲¹、玉造 滋²、渡邊くほみ²
(¹国立国際医療センターエイズ治療開発センター、²ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社)

- 220 当院受診患者における梅毒、B型肝炎、C型肝炎の状況
後藤哲志、白野倫徳、高田由紀子、阪上賀洋
大阪市立総合医療センター 感染症センター

- 221 日本HIV陽性女性における膣・頸管分泌物中のHIVウイルス量について
永松あかり¹、服部里佳¹、稲葉淳一¹、箕浦茂樹¹、田沼順子²、源河いくみ²、菊池 嘉²、安岡 彰³、岡 慎一²
(¹国立国際医療センター・産婦人科、²国立国際医療センター・エイズ集中治療センター、³国立国際医療センター・エイズ集中治療センター、富山医科薬科大学感染予防医学／感染治療部)

- 222 性感染症を疑った若年女性の受診と関連する要因
中瀬克己¹、小坂 健²、岡部信彦²、中谷友樹³
(¹岡山市、²国立感染症研究所感染症情報センター、³立命館大学文学部地理学科)

■日時：11月30日(土) 9:00~9:40
■会場：第3会場(会議室141-142)

動物モデル

座長 岩倉洋一郎(東京大学医科学研究所ヒト疾患モデル研究センター)

- 223 エイズ脳症における大脳白質病変と皮質病変の比較—サルエイズモデルを用いた神経病理学的解析
xing Hui qin¹、森 一泰²、森豊隆志³、多田隈 圭²、早川 仁³、出雲周二¹
(¹鹿児島大学医学部難治ウイルス研分子病理、²国立感染症研究筑波霊長類センター、³鹿児島大学医学部第3内科)

- 224 SHIV89.6p持続感染サルへの薬剤経口投与によるHAARTの効果
秋山尚志¹、井戸栄治¹、赤畑 渉¹、速水正憲¹、吉村和久²、木村哲也²、松下修三²
(¹京都大学ウイルス研究所感染症モデル研究センター、²熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野)

- 225 エンベロープ V3 ループ領域の入れ替えが SHIV に与えた *in vitro* および *in vivo* におけるコレセプター使用への影響
海津雅彦¹、網 康至²、泉 泰之¹、佐藤裕徳¹、武部 豊¹、仲宗根 正¹、染谷健二¹、北村勝彦³、朽久保 修³、本多三男¹
(¹国立感染症研究所エイズ研究センター、²国立感染症研究所動物管理室、³横浜市立大学医学部)

- 226 hu-PBLを移植したマウスのHIV-1口腔感染に対する抵抗性
中尾龍馬¹、天笠光雄²、浅野敏彦³、花田信弘⁴、本多三男⁵、泉福英信¹
(¹国立感染症研究所細菌第一部、²東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科学、³国立感染症研究所動物管理室、⁴国立保健医療科学院口腔保健部、⁵国立感染症研究所エイズ研究センター)

■日時：11月30日(土) 9:40~10:40
■会場：第3会場(会議室141-142)

コレセプター 1

座長 岡田則子(名古屋市立大学医学部)
清水宣明(群馬大学医学部)

- 227 HIV-1 感染における second receptor CCR5 の機能領域の同定
西川正雄¹、高島勝典²、古田里佳¹、藤澤順一¹
(¹関西医科大学微生物学講座、²武田薬品工業株式会社)

- 228 YY1 Down-regulates Expression of CCR5, a Major Co-Receptor for HIV-1
森内昌子、森内浩幸
(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系)

- 229 Increased Infectability by HIV-1 of Peripheral Blood Lymphocytes from Acutely Epstein-Barr Virus Infected Individuals
森内浩幸、森内昌子
(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系)

- 230 CXCR4利用能をもつHIV-1サブタイプC株の解析
加藤佳代子、大川 淳、武部 豊
(国立感染症研究所エイズ研究センター)

- 231 Extensive variation of CXCR4- and CCR5-dependent human immunodeficiency virus type 1 in a patient with acute infection
Takeuchi Hiroaki¹、Suzuki Youichi¹、Hoshino Hiroo²、Daar Eric S.³、Koyanagi Yoshio¹
(¹Department of Virology, Tohoku University Graduate School of Medicine、²Department of Virology and Preventive Medicine, Gunma University School of Medicine、³Department of Medicine, Division of HIV Medicine, Harbor-UCLA Medical Center Research and Education Institute)

- 232 HIV/SIVとの相互作用に関与するコレセプターの細胞外領域アミノ酸配列の解析
清水宣明¹、田中 淳¹、城野幸美¹、丸山泰弘²、星野 洪郎¹
(¹群馬大学医学部衛生学、²群馬大学医学部眼科学)

■日時：11月30日（土）10:40～11:20

■会場：第3会場（会議室 141-142）

コレセプター2

座長 田中勇悦（琉球大学医学部沖縄アジア医学研究センター）

233 Study of Genetic Mechanisms of AIDS Pathogenesis in Thailand

Nuanjun Ruchusatsawat¹、Emi Nakayama¹、Archawin Rojanawiwat³、Panita Pathipvanich³、Wattana Auwanit²、Suthon Vongsheree²、Kunito Yoshiike⁴、Koya Ariyoshi⁵、Tatsuo Shioda¹、Pathom Sawanpanyalert²

(¹Osaka University、²National Institute of Health, Thailand、³Lampang Hospital, Thailand、⁴Japan International Cooperation Agency、⁵National Institute of Infectious Diseases)

234 コレセプター利用性の異なる2種類のリポーターウイルスの同時感染におけるウイルス間相互作用の解析

前田洋助、遊佐敬介、天白 晶、原田信志
（熊本大学医学部感染防御学講座）

235 Primary isolate に対するヒトモノクローナル抗体 KD-247 の中和効果

滝沢万里¹、村上利夫²、江田康幸²、前田敏宏²、原 敬志³、本多三男¹

(¹国立感染症研究所・エイズ研究センター、科学技術振興事業団、²化学及血清療法研究所、³国立感染症研究所・エイズ研究センター)

236 HIV侵入の無細胞解析系におけるウイルス感染特異性

原田貴之、佐多徹太郎、倉田 毅、小島朝人
（国立感染症研究所感染病理部）

■日時：11月30日（土）11:20～12:10

■会場：第3会場（会議室 141-142）

ワクチン1

座長 俣野哲朗（東京大学大学院医学系研究科微生物学講座）

237 新世代DNAワクチンを使用したエイズワクチンの開発

篠田香織、忻 克勤、城内 直、松井清彦、浜島健治、奥田研爾
（横浜市立大学）

238 HIV Env DNAワクチンにおけるHIV *rev* 遺伝子の重要性の検討

城内 直、奥田研爾、忻 克勤、浜島健治、篠田香織、松井清彦
（横浜市立大学医学部細菌学講座）

239 組換えワクシニアウイルスを用いたエイズワクチンの開発

松井清彦、忻 克勤、浜島健治、篠田香織、城内 直、奥田研爾
（横浜市立大学医学部）

240 組換え乳酸菌を用いたHIVワクチンの開発

忻 克勤、浜島健治、篠田香織、城内 直、松井清彦、奥田研爾
（横浜市立大学医学部）

241 サルエイズモデルにおける細胞性免疫破綻機構の解析

倫 文輝¹、狩野宗英¹、中村浩美¹、武田明子¹、俣野哲朗^{1,2}

(¹国立感染症研究所エイズ研究センター、²東京大学大学院医学系研究科微生物学講座)

■日時：11月30日（土）13:30～14:10

■会場：第3会場（会議室 141-142）

ワクチン2

座長 岡田秀親（名古屋市立大学医学部生体高分子）

242 アデノ随伴ウイルス由来Inverted Terminal Repeats導入HIV-DNAワクチンはその免疫原性が増強される

浜島健治、忻 克勤、篠田香織、松井清彦、城内 直、奥田研爾、
（横浜市立大学医学部）

243 非感染性ウイルス粒子を産生するIL-2遺伝子組み込みフルゲノム SHIV プラスミドを用いたDNAワクチンの開発

堀内励生、赤畑 渉、鈴木 元、斉藤尚紀、井戸栄治、桑田岳夫、榎瀬良美、速水正憲
（京都大学ウイルス研究所エイズ研究施設感染病態研究領域）

244 不活化HIV-1捕捉ナノスフェアのマウス経鼻投与により誘導された特異的免疫応答

河村正輝¹、赤木隆美³、上野真路³、平石勝也³、芹澤武²、明石 満²、馬場昌範¹
(¹鹿児島大学医学部、²鹿児島大学工学部、³(株)日本抗体研究所)

245 不活化SHIV捕捉ナノスフェア経鼻免疫ザルにおけるSHIV KU-2の経粘膜感染防御

榎瀬良美¹、赤木隆美²、上野真路²、河村正輝³、三宅在子¹、堀内励生¹、平石勝也²、芹澤 武⁴、明石 満⁴、馬場昌範³、三浦智行¹、速水正憲¹

(¹京都大学ウイルス研究所、²株式会社日本抗体研究所、³鹿児島大学医学部、⁴鹿児島大学工学部)

■日時：11月30日(土) 14:10~15:40

■会場：第3会場(会議室141-142)

ワクチン3

座長 本多三男(国立感染研究所エイズ研究センター)
森 一泰(国立感染症研究所筑波医学実験用霊長類センター)

246 Chemokine receptor, CCR5-CXCR4 chimera 抗原に基づいたconformational specific単クローン抗体の免疫学的諸性質の検討

中山大介¹、向井鏖三郎²、石川智美²、橘 園臣³、梅田 衛³、本田徹朗³、高宗暢暁¹、三隅将吾¹、庄司省三¹

(¹熊本大学薬学部生化学研究室、²国立感染研・筑波、³日水製薬)

247 CXCR4の特異的構造を基礎にしたHIV-1 X4ウイルスの感染防御法のアカゲザルでの検討

遠藤昌史¹、三隅将吾¹、向井鏖三郎²、石川智美²、橘園臣³、梅田 衛³、本田徹朗³、高宗暢暁¹、庄司省三¹

(¹熊本大学薬学部生化学研究室、²国立感染研・筑波、³日水製薬)

248 HIV-1 coreceptor由来環状dodecapeptide(cDDR5)のウイルス感染防止免疫抗原としての検討

飯干高明¹、三隅将吾¹、高宗暢暁¹、向井鏖三郎²、石川智美²、橘 園臣³、梅田 衛³、本田徹朗³、庄司省三¹

(熊本大学薬学部生化学研究室、²国立感染研・筑波、³日水製薬)

249 ヒト化抗HIV-1 V3-tipモノクローナル抗体(KD-247)投与によるSHIV-C2/1接種サルリンパ組織におけるCD4陽性細胞の維持

村上利夫¹、網 康至²、吉野直人³、滝澤万里³、仲宗根 正³、江田康幸¹、本多三男³、前田敏宏¹

(¹化学及血清療法研究所、²国立感染症研究所 動物管理室、³国立感染症研究所 エイズ研究センター)

250 Env エイズワクチンへの糖鎖欠失変異の効果

森 一泰¹、杉本智恵¹、保富康宏²、草川 茂¹、武部豊¹、中山英美³、塩田達雄³、永井美之⁴

(¹国立感染症研究所エイズ研究センター、²三重大医学部生体防御、³大阪大微生物病研究所、⁴富山県衛生研究所)

251 組換えBCGにおける外来遺伝子の使用コドン最適化の有用性の評価

兼清 優¹、松尾和浩³、濱武牧子²、長谷川篤彦⁴、山本直樹²、本多三男³

(感染研・エイズ研究センター、¹日大・院獣医、²感染研・エイズ研究センター、³感染研・エイズ研究センター、⁴科技団・エイズワクチンプロジェクト、⁵日大・獣医)

252 弱毒化ワクシニアDIsベクターのエイズワクチンへの応用、rDIs/SIVgagの皮内接種による細胞性免疫誘導

泉 泰之¹、網 康至²、仲宗根 正¹、松尾和浩³、染谷健二¹、山本直樹¹、本多三男¹

(¹国立感染症研究所エイズ研究センター、²国立感染症研究所動物管理室、³科学技術振興事業団エイズワクチンプロジェクト)

253 ワクシニアDIs株をベースにした組換え型HIVワクチンの免疫誘導能の特性：小動物における非活性化HIV-1 Gag特異的CTLの誘導

田中陽子¹、染谷健二³、泉 泰之³、堀端重男²、本多三男³、山本直樹²、木村和子⁴

(¹感染研・エイズ研究センター、²金沢大学大学院・自然科学科、³感染研・エイズ研究センター、⁴感染研・エイズ研究センター、⁵科技団・エイズワクチンプロジェクト、⁶金沢大学・薬学部)

254 Non human primateを用いた DNA prime/recombinant vaccinia virus boost vaccine regimenの評価

染谷健二¹、忻 克勤²、網 康至³、泉 泰之⁴、仲宗根 正⁵、山本直樹⁶、奥田研爾⁷、本多三男⁸

(¹国立感染症研究所 エイズ研究センター、²横浜市立大学 医学部 細菌学教室、³国立感染症研究所 動物管理室、⁴国立感染症研究所 エイズ研究センター、⁵国立感染症研究所 エイズ研究センター、⁶国立感染症研究所 エイズ研究センター、⁷横浜市立大学 医学部 細菌学教室、⁸国立感染症研究所 エイズ研究センター)

■日時：11月30日（土）9:00～10:00

■会場：第4会場（会議室131-134）

疫学

座長 木村博和（横浜市立大）

- 255 献血時に見出されたHIV検査陽性者の最近の動向
竹中道子¹、池田久實²、中村榮一³、渡部準之助⁴、神谷 忠⁵、矢内純吉⁶、神前昌敏⁶、清水 勝⁷
（¹神奈川県予防医学協会、²北海道赤十字血液センター、³東京都赤十字血液センター、⁴東京都東赤十字血液センター、⁵愛知県豊橋赤十字血液センター、⁶大阪府赤十字血液センター、⁷杏林大学医学部臨床検査医学・中央検査部）
- 256 横浜地区を拠点とした医療施設におけるHIV感染者の疫学
鈴木健之¹、北村勝彦²、長縄 聰²、上田敦久¹、岳野光洋¹、白井 輝³、伊藤 章⁴、杢久保 修²、石ヶ坪良明¹
（¹横浜市立大学医学部内科学第一講座、²横浜市立大学医学部公衆衛生学講座、³横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター感染医療センター、⁴横浜市立大学医学部附属病院臨床検査部）
- 257 横浜地区を拠点とした医療施設におけるHIV感染者のサブタイプの解析
鈴木健之¹、北村勝彦²、長縄 聰²、上田敦久¹、岳野光洋¹、白井 輝³、伊藤 章⁴、杢久保 修²、石ヶ坪良明¹
（¹横浜市立大学医学部内科学第一講座、²横浜市立大学医学部公衆衛生学講座、³横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター感染医療センター、⁴横浜市立大学医学部附属病院臨床検査部）
- 258 妊婦におけるHIV感染の経年的観察
竹中道子¹、清水 勝²、清川 尚³
（¹神奈川県予防医学協会、²杏林大学医学部臨床検査医学・中央検査部、³船橋市立医療センター）
- 259 大阪府下のSTDクリニックで見られたHIV-1の分子疫学
小島洋子、川畑拓也、森 治代、大石 功、大竹 徹（大阪府立公衆衛生研究所公衆衛生部病理課）
- 260 大阪府のSTDクリニックにおけるHIV抗体調査
川畑拓也、大石 功、森 治代、小島洋子、大竹 徹（大阪府立公衆衛生研究所）

■日時：11月30日（土）10:00～10:50

■会場：第4会場（会議室131-134）

臨床関連疫学

座長 橋本修二（藤田保健衛生大学医学部衛生学教室）

- 261 血液製剤によるHIV感染者の調査成績 第2報 抗HIV薬の併用区分・併用薬剤の変更状況と変更前後での臨床状況の変化
山口拓洋¹、橋本修二²、岡 慎一³、吉崎和幸⁴、木村哲⁵、福武勝幸⁶、白阪琢磨⁷
（¹東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻、²藤田保健衛生大学医学部衛生学、³国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター、⁴大阪大学健康体育部健康医学第一部門、⁵東京大学大学院医学系研究科病因・病理学専攻、⁶東京医科大学臨床検査医学講座、⁷国立大阪病院臨床研究部）
- 262 拠点病院におけるHIV/AIDS受療者数の推移
川戸美由紀¹、橋本修二²、山口拓洋³、中村好一⁴、木村博和⁵、市川誠一⁶、松山 裕⁷、木原正博⁸、白阪琢磨⁹
（¹東京大学大学院医学系研究科薬剤疫学、²藤田保健衛生大学医学部衛生学、³東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻、⁴自治医科大学公衆衛生学、⁵横浜市立大学医学部公衆衛生学、⁶神奈川県立衛生短期大学公衆衛生学、⁷京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻、⁸京都大学大学院医学研究科国際保健学、⁹国立大阪病院臨床研究部）
- 263 日本国籍者のHIV/AIDSの特徴－サーベイランスによる先進諸国との比較－
松山 裕¹、川戸美由紀²、山口拓洋³、梅田珠実⁴、城所敏英⁵、市川誠一⁶、橋本修二⁷
（¹京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療統計学、²東京大学医学部薬剤疫学講座、³東京大学大学院医学系研究科生物統計学、⁴神戸市保健福祉局、⁵中野区保健所保健予防課、⁶神奈川県立衛生短期大学公衆衛生学、⁷藤田保健衛生大学医学部衛生学教室）
- 264 HIV-1感染血友病における2001年5月までの死亡数、死亡率および死因中の肝疾患の推移
立浪 忍¹、瀧 正志²、三間屋純一³、白幡 聡⁴、山田兼雄⁵
（¹聖マリアンナ医科大学医学部附属研究施設、²聖マリアンナ医科大学医学部小児科、³静岡県立こども病院血液腫瘍科、⁴産業医科大学小児科、⁵エイズ予防財団）
- 265 エイズ診療拠点病院における日和見感染症・エイズ指標疾患の動向
畠山修司¹、森澤雄司¹、安岡 彰²、岡 慎一³、木村哲¹
（¹東京大学医学部附属病院 感染症内科、²富山医科薬科大学 感染予防医学講座、³国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

■日時：11月30日（土）10:50～11:50

■会場：第4会場（会議室131-134）

予防教育

座長 池上千寿子（特別非営利活動法人ぷれいす東京）

266 性教育の現状に関する横断調査（B県）

木原雅子¹、木原正博²、伊藤智子¹、本間隆之²、荒木善光²

（¹広島大学医歯薬総合大学院医学研究科、²京都大学大学院医学研究科）

267 保護者・子・教師の性意識に関する横断研究（B県）

木原雅子¹、木原正博²、伊藤智子¹

（¹広島大学医歯薬総合大学院医学研究科、²京都大学大学院医学研究科）

268 思春期における効果的なエイズ予防講演の時期・内容についての考察

中澤よう子

（神奈川県足柄上保健福祉事務所）

269 秋田県大館市内同一学区の小・中学校、高校、住民へのエイズ予防・啓発教育

高橋義博

（大館市立総合病院小児科）

270 中学校におけるHIV感染予防教育の実態と教育支援

笹山久美代¹、森田 文¹、小野恭子¹、山下佳子¹、犀川由紀子²

（¹国立大阪病院 看護部、²国立療養所刀根山病院）

271 企業におけるHIV/AIDS予防教育10年の軌跡ー社員へのアンケート調査よりー

池田京子¹、松崎加寿子¹

（¹東京ガス株式会社健康開発センター、²東京ガス株式会社健康開発センター）

273 男性同性間性行為におけるコンドームの使用／不使用の要因に関する質的調査結果とヘテロセクシュアルの若年女子／男子調査との比較研究

砂川秀樹¹、葦田竜也²、生島 嗣²、池上千寿子²

（¹ぷれいす東京/エイズ予防財団、²ぷれいす東京）

274 ゲイ、バイセクシュアル男性のエイズ予防に向けたリスク構成要因

河口和也¹、風間 孝²、菅原智雄²、柏崎正雄²、宮内典子³

（¹広島修道大学、²動くゲイとレズビアン会、³レッドリボンさっぽろ）

275 ゲイ・コミュニティにおける予防介入のためのリスク・アセスメント

風間 孝¹、河口和也²、菅原智雄¹、柏崎正雄¹、宮内典子³

（動くゲイとレズビアン会、²広島修道大学、³レッドリボンさっぽろ）

276 オンライン自由記述式質問紙によるMSMのコンドーム使用の心理・社会的背景に関する研究（SPIRITS, Wave 1）

日高庸晴¹、市川誠一²、古谷野淳子³、浦尾充子⁴、安尾利彦⁵、木原正博¹

（¹京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻、²神奈川県立衛生短期大学衛生技術科、³大阪府健康福祉部感染症・難病対策課、⁴千葉大学附属病院カウンセリング室、⁵財団法人エイズ予防財団）

277 名古屋におけるMSMとLesbianを対象としたHIV検査会

内海 眞¹、菊池恵美子¹、米倉弥久里¹、五島真理為²

（¹国立名古屋病院、²HIVと人権・情報センター）

■日時：11月30日（土）11:50～12:50

■会場：第4会場（会議室131-134）

MSM

座長 鬼塚哲郎（東京産業大学/MASH大阪）

272 ゲイ・バイセクシャルのコンドームに関する調査

生島 嗣¹、佐藤未光²

（¹ぷれいす東京、²MASH東京）